

令和4年（2022年）2月14日

財務部財政課

# 令和4年度当初予算（案）

## 主な事業の概要

# 目 次

## 【1 徹底した行政改革】

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1 紙面と動画を併用した市政情報の発信 | 広報戦略課        |
| 2 ホームページリニューアル事業    | 広報戦略課        |
| 3 つくばSDGs推進事業       | 持続可能都市戦略室    |
| 4 スマートシティ推進事業       | スマートシティ戦略室   |
| 5 データ共有システム活用支援事業   | 統計・データ利活用推進室 |
| 6 おくやみ相談窓口事業        | 市民窓口課        |

## 【2 安心の子育て】

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 7 ペアレントメンター活用事業              | 障害福祉課            |
| 8 医療福祉費支給事業（マル福）高校生外来診療分の対象化 | 医療年金課            |
| 9 新生児聴覚検査事業                  | 健康増進課            |
| 10 不妊治療助成事業                  | 健康増進課            |
| 11 放課後児童クラブ建設事業              | こども育成課           |
| 12 児童館空調設備設置事業               | こども育成課           |
| 13 つくば市独自の子育て世帯臨時特別給付金支給事業   | こども政策課           |
| 14 ホームスタート事業                 | こども政策課           |
| 15 公立保育所主食提供事業               | 幼児保育課            |
| 16 保育士等処遇改善助成事業              | 幼児保育課            |
| 17 小学校・中学校特別教室空調設備設置事業       | 教育施設課            |
| 18 （仮称）香取台地区小学校建設事業          | 教育施設課            |
| 19 （仮称）研究学園小学校・中学校建設事業       | 教育施設課            |
| 20 （仮称）みどりの南小学校・中学校建設事業      | 教育施設課            |
| 21 （仮称）荃崎地区幼稚園移転改修事業         | 教育施設課            |
| 22 （仮称）新桜学校給食センター建設事業        | 健康教育課            |
| 23 不登校児童生徒学習支援事業             | 学び推進課            |
| 24 コミュニティ・スクール導入事業           | 生涯学習推進課          |
| 25 教育相談対応事業                  | 教育相談センター         |
| 26 小中学校への学校サポーターの配置          | 教育総務課            |
| 27 小中学校への外国語指導助手（ALT）の増員     | 教育総務課            |
| 28 授業ライブ配信事業                 | 教育相談センター・総合教育研究所 |
| 29 ICT教育推進事業                 | 総合教育研究所          |

## 【3 頼れる福祉】

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 30 生活困窮者自立支援事業           | 社会福祉課    |
| 31 生活困窮者支援生理用品配布事業       | 社会福祉課    |
| 32 重度障害者等就労支援特別事業        | 障害福祉課    |
| 33 心身障害者鉄道・バス利用料金助成事業    | 障害者地域支援室 |
| 34 子どもの学習支援事業            | こども未来室   |
| 35 居場所づくり支援事業            | こども未来室   |
| 36 新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業 | 健康増進課    |
| 37 つくば市独自PCR検査事業         | 健康増進課    |
| 38 高齢者等買物支援事業            | 地域包括支援課  |
| 39 犬猫のマイクロチップ装着補助事業      | 環境保全課    |

## 【4 便利なインフラ】

40 新設教育施設等への防災設備設置事業	危機管理課
41 スマートIC整備事業	道路整備課
42 防犯カメラ設置補助事業	防犯交通安全課
43 生ごみ処理容器等購入費補助事業	環境衛生課
44 宅配ボックス設置促進補助事業	環境政策課
45 サステナスクエア焼却炉耐火壁修繕事業	サステナスクエア管理課
46 葉刈り芝収集堆肥化推進事業	農業政策課
47 道路・街路・橋梁・河川等整備事業	道路整備課・都市計画道路整備推進室
48 道路維持管理事業	道路管理課
49 つくバス運行事業	総合交通政策課
50 筑波地区での支線型バス運行事業	総合交通政策課
51 路線バス実証実験事業	総合交通政策課

## 【5 活気ある地域】

52 つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業	科学技術振興課
53 (仮称)みどりの学校プール建設事業	スポーツ施設整備室
54 ジオパーク中核拠点整備事業(旧筑波東中学校)	ジオパーク室
55 自転車拠点整備事業(旧筑波東中学校)	サイクルコミュニティ推進室
56 サイクルコミュニティ活性化事業	サイクルコミュニティ推進室
57 企業立地促進補助金	産業振興課
58 創業支援事業	産業振興課
59 商店街空き店舗補助事業	産業振興課
60 新型コロナウイルス感染症対策経済支援事業	経済支援室
61 森林経営管理制度による森林整備事業	鳥獣対策・森林保全室
62 周辺市街地活性化事業	周辺市街地振興課
63 空き家対策事業	住宅政策課

## 【6 誇れるまち】

64 文化芸術創造拠点基本計画策定事業	文化芸術課
65 筑波ふれあいの里改修事業	観光推進課
66 観光情報電子化事業	観光推進課
67 観光施設整備事業	観光推進課
68 つくばセンタービルリニューアル事業	学園地区市街地振興課
69 電力自己託送事業	環境政策課
70 スケートボードパーク整備事業	公園・施設課
71 公園建設事業	公園・施設課
72 電子図書館運営事業	中央図書館

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 04 広報費 11 広報デザイン事業に要する経費
	02 総務費 01 総務管理費 04 広報費 12 魅力発信事業に要する経費
事業名	紙面と動画を併用した市政情報の発信
担当課	市長公室 広報戦略課
事業期間	令和3年度～
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-4 シティプロモーションを推進する
ロードマップ	11-1 市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化(市政情報)

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	64,265	0	0	0	0	64,265	61,691	2,574
歳出内訳	印刷製本費	28,097	広報つくば印刷費				28,847	△750
	印刷製本費	3,716	つくば市かわら版印刷費				1,881	1,835
	委託料	29,145	広報つくば配布業務委託料				28,841	304
	委託料	2,373	点字版作成委託料				1,685	688
	委託料	758	朗読版作成委託料				437	321
	委託料	176	動画素材制作委託料				0	176

事業の目的	市民の市政への理解を深めるため、紙面と動画を併用した市政情報の発信を行う。
事業の概要	<p>広報つくばを通じて、市民に対して市政情報をわかりやすく周知するとともに、市政に対する親しみと信頼感を醸成するため、紙面構成や掲載内容に工夫を凝らし、市民に親しみやすい広報紙としていく。あわせて、つくば市かわら版の発行回数を6回(令和3年度)から12回に増やすことで、市民の関心の高い話題や市が抱える重要な問題等を積極的に発信する。</p> <p>また、YouTube動画「つくば市かわら版チャンネル」をはじめとする動画を制作・配信し、さらにタイムリーな情報発信を行う。</p>
事業の効果	紙面と動画を併用し、市政情報をより詳しく発信することで、地域の隅々の幅広い年齢層の市民に市政情報が浸透し、市政や社会課題、まちづくり等を身近なこととして関心を持ってもらうことができる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 04 広報費 12 魅力発信事業に要する経費
事業名	ホームページリニューアル事業
担当課	市長公室 広報戦略課
事業期間	令和4年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-4 シティプロモーションを推進する
ロードマップ	11-1 市政や市民の取り組みに関する情報発信の強化(市政情報)

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	21,938	0	0	0	0	21,938	0	21,938
歳出内訳	委託料	18,114	ホームページ再構築業務委託料				0	18,114
	使用料	3,824	ホームページ管理システム等使用料				0	3,824

事業の目的	市民等が求める「知りたい」情報を整理し、的確に「伝わる」情報発信を行うため、ホームページのリニューアルを行う。
事業の概要	現在のシステムを導入してから5年が経過し、サーバのリース契約が終了することに伴い、顕在化している課題を解決するためにリニューアルを行う。具体的には、ホームページ閲覧者が、必要なときに必要な情報を分かりやすく閲覧できるようにするとともに、災害時等の緊急時にも迅速かつ的確な情報発信を行うため、トップページデザインの刷新やページ構成の変更、SNS等との拡張や連携機能の拡充、クラウドサーバー化、CMSの操作性の向上等を図る。
事業の効果	市民等が必要とする知りたい情報や市の魅力等について、市民等に素早く確実に伝わることで市のイメージアップにつながり、つくばに愛着を持つ人が増えることが期待される。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 20 SDG s 推進に要する経費
事業名	つくばSDG s 推進事業
担当課	政策イノベーション部 持続可能都市戦略室
事業期間	継続
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-1 市民と共に創るまちづくりを推進する
ロードマップ	8 持続可能な社会を実現するため、多様な主体が連携したまちづくりを推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減 A-B	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B		
	4,975	0	0	0	4,500	475	4,892	83	
歳出内訳	講師謝礼	158	つくばSDG s パートナース講座等講師謝礼					96	62
	委託料	4,317	つくばSDG s パートナース社会課題解決事業運営業務委託料					4,334	△ 17
	委託料	189	SDG s ポータルサイト維持管理業務委託料					188	1
	委託料	66	つくばSDG s パートナースオンライン講座委託料					66	0
	旅費・消耗品費	245	SDG s ゴールシール等購入費ほか					208	37

事業の目的	つくばSDG s パートナースにおいて、SDG s の達成に取り組む市民や企業等の連携を進め、社会課題解決などの身近な取組を進めることで、持続可能都市の実現を目指す。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つくばSDG s パートナース講座 年間4回 個人会員382名 (令和4年1月現在)</li> <li>○社会課題解決型ワークショップ「SDG s TRY」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続費設定 計 8,998千円 (令和4~5年度)</li> <li>※準備期間を確保し、ワークショップ開催回数及び内容を充実させるため、2年間の継続費を設定</li> <li>・本市の課題を抽出し、その解決策を検討し、実行に移すことを目的としたワークショップを開催する。(2年間で7回)</li> </ul> </li> <li>○つくばSDG s パートナースポータルサイト運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座、イベント情報掲載</li> <li>・団体会員による取組発信</li> <li>団体会員118団体 (令和4年1月現在)</li> </ul> </li> <li>○つくばSDG s 大賞 (アワード) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内でSDG s に関連する取組を実施した者を表彰する</li> <li>・表彰は5名・団体程度を予定</li> </ul> </li> </ul>
事業の効果	SDG s の基礎的な知識を持つ個人会員を認定し、会員対象に市民自らが社会課題の解決に取り組むワークショップを実施することで、身近なSDG s の達成につながる取組が広がり、さらに企業等の団体会員との連携が進むことで、パートナーシップにより、市全体が一丸となることで、目指す持続可能なまちづくりが実現する。さらに新たに表彰制度を設けることで、それらの活動の見える化と発信力の強化を図り、活動の活性化と波及効果を目指す。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 19 スマートシティ推進に要する経費
事業名	スマートシティ推進事業
担当課	政策イノベーション部 スマートシティ戦略室
事業期間	令和4年度
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-3 市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる
ロードマップ	2 ほしい市役所の情報が自動で届き、道路破損などの気づきを気軽に通報できる双方向のシステムを導入 3 規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用 47 高齢者向けスマホ教室を開始し、離れて暮らす家族や友人とのテレビ電話などを可能に

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	107,434	51,771	0	0	0	55,663	0	107,434	
歳出内訳	整備委託料	23,243	つくばポータルアプリ整備・運営委託料					0	23,243
	整備委託料	1,341	モビリティ情報データ連携委託料					0	1,341
	調査委託料	37,316	情報格差解消調査委託料					0	37,316
	確認事業委託料	23,795	スーパーシティ住民等意向確認事業委託料					0	23,795
	負担金	20,739	情報連携システム基盤運営等負担金					0	20,739
	広告業務委託料	1,000	PR業務委託料					0	1,000

事業の目的	地域の課題解決のためのスマートシティの推進 デジタル情報プラットフォームの導入による地域との連携推進
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つくばポータルアプリの整備・運営 市民と行政をつなぐ「つくスマアプリ」を導入する。</li> <li>○モビリティ情報データの連携 移動スーパーの位置情報等の見える化を実装する。</li> <li>○情報格差解消調査 先端的サービスのタッチポイントとなるスマホ等の高齢者の保有率を高めるため、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の優先地域である小田、宝陽台地区にて、情報格差を解消する支援・人材の育成・配置等に関する調査検討を行う。</li> <li>○スーパーシティ住民等意向確認 「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の先端的サービスを実施するための住民の合意形成を図るため、住民説明会及び住民意向確認等を開催する。</li> <li>○情報連携システム基盤運営等負担金 つくばスマートシティ協議会と連携し、様々なデータを分野横断的に収集・整理し提供する「デジタル情報プラットフォーム」(データ連携基盤、都市OS)の構築を進めるとともに産学官民が連携し活用することで、地域課題の解決に資する様々なサービスを提供する。</li> </ul>
事業の効果	様々なデータを分野横断的に収集・整理して提供する「デジタル情報プラットフォーム」を軸とし、規制緩和と住民合意に基づき、地域住民等に様々な先端的サービスを提供することで、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の実現のための環境を整備することができる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 21 統計・データ利活用の推進に要する経費
事業名	データ共有システム活用支援事業
担当課	政策イノベーション部 統計・データ利活用推進室
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-3 市民のために新たな技術や価値を導入し、進化するまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	2,530	0	0	0	0	2,530	0	2,530
歳出内訳	2,530	データ共有システム活用支援業務委託料					0	2,530

事業の目的	データを活用して住民のニーズに応じた判断を迅速に行うことや、複数のデータを一通貫で庁内利用するため
事業の概要	<p>○これまでの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度 庁内各課等がそれぞれ保有するデータを横断的・継続的に利用できるシステムを整備</li> <li>令和3年度 システムの運用を試験的に開始(市の費用負担なし)</li> <li>令和4年度～ 本格運用開始</li> </ul> <p>○データ共有システムの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な形式のデータが登録可能なデータカタログサイトであり、検索やプレビュー、マップ表示等のデータ活用を支援する機能を有している。</li> <li>当該システムに庁内各課が保有するデータを登録することで、庁内でのデータ利活用が効率的かつ横断的にできるようになり、今後のデータ利活用において重要な基盤となる。</li> <li>「統計つくば」掲載データ、人口移動などのデータ、避難所、ハザードマップなど121件のデータセットが登録されている。(R4.1月現在)</li> </ul> <p>○委託の内容</p> <p>システム活用の技術支援、システムサポート保守・運用等</p>
事業の効果	<p>データ活用が促進されることで、庁内各課が所有する(埋蔵する)データをこれまで以上に活用し、客観的事実に基づき事業設計・適正なリソース配分を実施することで、住民サービスの向上が見込める。</p> <p>また、データ利用申請等の手続やデータの受払・加工が不要になり業務が効率化され、事業の費用対効果が向上する。</p>



令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 03 戸籍住民基本台帳費 01 戸籍住民基本台帳費 11 戸籍住民基本台帳事務に要する経費
事業名	おくやみ相談窓口事業
担当課	市民部 市民窓口課
事業期間	令和4年度 (令和5年1月運用開始)
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	518	0	0	0	0	518	0	518	
歳出内訳	需用費	116	おくやみ相談窓口ガイドブック (市民用) おくやみ相談窓口案内通知発送料 (郵送料) ほか					0	116
	委託料	303	おくやみ相談窓口システム導入委託料 おくやみ相談窓口システム保守委託料					0	303
	備品購入費	99	案内板					0	99

事業の目的	家族や親族が亡くなった後の市役所の手続きについて、必要な申請書の作成支援を行うワンストップ窓口「おくやみ窓口サービス」を開設予定。
事業の概要	<p>(1) 対象者 つくば市に住民登録がある「死亡届」の事件本人の遺族</p> <p>(2) 導入方法 基幹系システムに「おくやみ窓口システム」を追加導入 関係各課へ基幹系システムから対象者の情報を共有し、必要となる手続きの担当課を判明させ、決定登録し対象者へ「おくやみ相談窓口案内通知」を発送。おくやみ相談窓口の利用を希望する遺族からの利用予約の電話を受け、来庁時の窓口において、必要な手続きを案内、申請書等の記入等の支援を行う。</p> <p>(3) 主な遺族の手続き内容について ○該当部署 10か所 市民窓口課、市民税課、資産税課、国民健康保険課、医療年金課 子ども政策課、介護保険課、高齢福祉課、農業委員会、障害福祉課 ○手続き内容 22業務内容 印鑑登録、住民税、軽自動車税、資産税、国民健康保険、国民年金、 後期高齢者医療制度、医療福祉制度、介護保険、児童手当、 児童扶養手当、身体障害者手帳、精神保健福祉手帳、そのほか</p> <p>(4) 運用開始予定 令和5年1月から運用開始予定</p>
事業の効果	遺族は、各自必要な手続きを自身で調べながら、担当部署を1か所ずつ手続きを行っていたが、事前に必要な手続きの情報を「おくやみ相談窓口案内通知」で確認し、「おくやみ相談窓口」で必要な手続きの案内や申請書記入などの支援を受けながら、手続きができる、遺族の負担軽減のために、ワンストップで手続きを実施し、遺族に寄り添った窓口の開設を実施する。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 03 障害者福祉費 21 児童発達支援センターに要する経費
事業名	ペアレントメンター活用事業
担当課	福祉部 障害福祉課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	28	9	4	0	0	15	0	28
歳出内訳	28	研修講師謝礼、ペアレントメンター謝礼					0	28

事業の目的	発達に配慮が必要な児童の養育を行う保護者に対して、ペアレントメンターを活用し、家族支援の充実を図る。
事業の概要	<p>○事業概要 発達に配慮が必要な児童の育児経験をいかし、同じような経験をしている保護者の話を聞いたり、情報提供を行ったりするペアレントメンター（県で実施するペアレントメンター養成研修修了者）を活用し、グループ相談会等を実施する。</p> <p>○ペアレントメンター 市内に住む、県のペアレントメンター養成研修修了者 約10名</p> <p>○事業内容 ①グループ相談会 発達に配慮が必要な児童の保護者を対象に、ペアレントメンターによるグループ相談会を実施する。 ②メンター連絡会 ペアレントメンターの知識と支援技術の向上を目的とした研修会の実施や各自のメンター活動の振り返り等を行う。</p> <p>○実施場所：市役所本庁舎またはコミュニティ棟の会議室</p>
事業の効果	子どもの発達に不安のある保護者の相談しやすい環境の整備を図ることで、地域で安心して子育てができ、また子どもの適切な支援につなげることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 05 医療福祉費 11 医療福祉費支給に要する経費
事業名	医療福祉費支給事業（マル福）高校生外来診療分の対象化
担当課	保健部 医療年金課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	21 マル福を高校生の外来診療まで拡大して家庭の負担を軽減

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減 A-B
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	
	75,704	0	0	0	0	75,704	0	75,704
歳出内訳	75,704	医療福祉費扶助費					0	75,704

事業の目的	子育て世帯の医療費負担を軽減するため、小児マル福の市独自事業の対象年齢を高校3年生相当まで拡大し、外来・入院ともに所得制限なしで助成する。（【県制度】外来：小学6年生まで所得制限あり 入院：高校3年生相当まで所得制限あり）
事業の概要	市独自事業 開始時期：令和4年（2022年）4月診療分から 対象年齢：高校3年生相当まで（18歳到達後最初の3月31日まで） 自己負担：あり（外来：600円/日、医療機関ごとに月2回まで負担 入院：300円/日、医療機関ごとに月上限3,000円） 所得制限：なし 対象者数：約6,100人 扶助費：75,704千円
事業の効果	子育て世帯の医療費負担を軽減することで、生活の安定と健康を確保することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 03 母子衛生費 11 母子健康診査に要する経費
事業名	新生児聴覚検査事業
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	6,900	0	0	0	0	6,900	0	6,900
委託料	6,900	新生児聴覚検査委託料					0	6,900
歳 出 内 訳								

事業の目的	公費助成を行うことで子育て世代の金銭的な負担を軽減し、早期に聴覚障害を発見することで療育につなげる。
事業の概要	<p>生後3か月未満までに行う新生児聴覚検査について、検査料金の公費助成を行う。 公費助成額は県内で統一されており、「AABR方式」は3,000円、「OAE方式」は2,000円</p> <p>※・AABR（自動聴性脳幹反応）…新生児聴覚検査用の聴性反応検査で自動判定機能を持たせたもの ・OAE（耳音響放射）…内耳から外耳道へ放射される微弱な音信号を集音して得られる反応で、内耳有毛細胞機能を評価する検査</p>
事業の効果	公費負担することにより、新生児聴覚検査を受検する方が増加することで、早期に聴覚障害を発見し療育につなげることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 03 母子衛生費 13 不妊治療助成に要する経費
事業名	不妊治療助成事業
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	23 不妊治療・不育症治療への支援を推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	44,590	0	0	0	0	44,590	17,150	27,440
扶助費	44,590	不妊治療費助成金					17,150	27,440
歳 出 内 訳								

事業の目的	体外受精及び顕微授精(保険適用外の特定不妊治療、男性不妊治療)、不妊検査、一般不妊治療(人工授精等)、不育症検査及び不育症治療を受けた方に、費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、適切な検査や治療を開始できるようにする。
事業の概要	<p>○不妊治療費助成金・男性不妊治療費助成金は、茨城県不妊治療費助成事業の交付決定を受けた方を対象に、特定不妊治療に要した費用のうち茨城県から受けた助成額を控除した額について一回の治療につき上限50,000円の助成</p> <p>○不妊検査及び一般不妊治療は、1組につき1回、上限30,000円助成</p> <p>○不育症検査費及び治療は、1組につき1回、上限50,000円を助成</p>
事業の効果	不妊治療を行う方の経済的負担を軽減し、少子化対策の一助となる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 05 児童館費 12 放課後児童対策に要する経費
事業名	放課後児童クラブ建設事業
担当課	こども部 こども育成課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	29 放課後児童クラブの待機児童をゼロへ

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	788,645	354,298	88,572	276,500	0	69,275	575,360	213,285	
歳出内訳	設計委託料	27,280	(仮称)みどりの南小中学校児童クラブ室建設工事設計委託料					27,423	△ 143
	監理委託料	12,550	児童クラブ室建設工事監理委託料					12,164	386
	建築工事	748,815	児童クラブ室建設工事					535,773	213,042

事業の目的	人口増加やライフスタイルの変化に伴い、当市の放課後児童クラブニーズが急激に高まり、待機児童や国の床面積要件を超過して児童を受け入れている課題が生じている。受入枠を拡充して適正な児童クラブスペース(室)を確保し、待機児童数をゼロにするために、公立の児童クラブにおいては、児童クラブ室の新增設や学校施設等の活用を行っていく。																																																				
事業の概要	<p>○建築施設概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>構造</th> <th>総事業費</th> <th>内 工事 訳 監理</th> <th>国庫補助金</th> <th>県補助金</th> <th>起債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">研究学園 (6支援単位)</td> <td>鉄骨造2階建て</td> <td rowspan="2">557,436,000</td> <td>548,020,000</td> <td rowspan="2">229,272,000</td> <td rowspan="2">57,318,000</td> <td rowspan="2">216,600,000</td> <td rowspan="2">54,246,000</td> </tr> <tr> <td>1364.918㎡</td> <td>9,416,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">香取台 (5支援単位) (R4)</td> <td>鉄骨造2階建て</td> <td rowspan="2">203,928,824</td> <td>200,795,314</td> <td rowspan="2">125,026,000</td> <td rowspan="2">31,254,000</td> <td rowspan="2">38,100,000</td> <td rowspan="2">9,548,824</td> </tr> <tr> <td>814.68㎡</td> <td>3,133,510</td> </tr> <tr> <td>みどりの南 (設計)</td> <td>鉄骨造2階建て</td> <td>27,280,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>21,800,000</td> <td>5,480,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>814.68㎡</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>788,644,824</td> <td>748,815,314 12,549,510</td> <td>354,298,000</td> <td>88,572,000</td> <td>276,500,000</td> <td>69,274,824</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※起債は各年度で80%充当</p>	施設名	構造	総事業費	内 工事 訳 監理	国庫補助金	県補助金	起債	一般財源	研究学園 (6支援単位)	鉄骨造2階建て	557,436,000	548,020,000	229,272,000	57,318,000	216,600,000	54,246,000	1364.918㎡	9,416,000	香取台 (5支援単位) (R4)	鉄骨造2階建て	203,928,824	200,795,314	125,026,000	31,254,000	38,100,000	9,548,824	814.68㎡	3,133,510	みどりの南 (設計)	鉄骨造2階建て	27,280,000				21,800,000	5,480,000		814.68㎡							合計		788,644,824	748,815,314 12,549,510	354,298,000	88,572,000	276,500,000	69,274,824
施設名	構造	総事業費	内 工事 訳 監理	国庫補助金	県補助金	起債	一般財源																																														
研究学園 (6支援単位)	鉄骨造2階建て	557,436,000	548,020,000	229,272,000	57,318,000	216,600,000	54,246,000																																														
	1364.918㎡		9,416,000																																																		
香取台 (5支援単位) (R4)	鉄骨造2階建て	203,928,824	200,795,314	125,026,000	31,254,000	38,100,000	9,548,824																																														
	814.68㎡		3,133,510																																																		
みどりの南 (設計)	鉄骨造2階建て	27,280,000				21,800,000	5,480,000																																														
	814.68㎡																																																				
合計		788,644,824	748,815,314 12,549,510	354,298,000	88,572,000	276,500,000	69,274,824																																														
事業の効果	児童クラブの待機児童が解消され、児童の保育環境を改善することができる。																																																				

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 05 児童館費 13 児童館管理に要する経費
事業名	児童館空調設備設置事業
担当課	こども部 こども育成課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	30 児童館プレイルームのエアコン設置を推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	46,772	0	0	36,000	0	10,772	44,594	2,178	
歳 出 内 訳	設計委託料	1,749	児童館空調設備設置設計委託料					1,749	0
	監理委託料	1,617	児童館空調設備設置監理委託料					1,078	539
	建築工事	43,406	児童館空調設備設置工事					41,767	1,639

事業の目的	児童館のプレイルームに空調を整備し、児童の健康に配慮するとともに円滑な児童館の運営を図る。												
事業の概要	<p>○R4設置予定施設名 吉沼児童館、手代木南児童館、竹園西児童館</p> <p>○設備仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>設置場所</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉沼</td> <td>プレイルーム 163.96㎡</td> <td>10馬力(25kw) 4台</td> </tr> <tr> <td>手代木南</td> <td>プレイルーム 263.66㎡ ※オープンスペース分 (79.16㎡)を含んで冷却計算を実施</td> <td>10馬力(25kw) 4台</td> </tr> <tr> <td>竹園西</td> <td>プレイルーム 218.033㎡ ※オープンスペース分 (56.753㎡)を含んで冷却計算を実施</td> <td>10馬力(25kw) 4台</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	設置場所	仕様	吉沼	プレイルーム 163.96㎡	10馬力(25kw) 4台	手代木南	プレイルーム 263.66㎡ ※オープンスペース分 (79.16㎡)を含んで冷却計算を実施	10馬力(25kw) 4台	竹園西	プレイルーム 218.033㎡ ※オープンスペース分 (56.753㎡)を含んで冷却計算を実施	10馬力(25kw) 4台
施設名	設置場所	仕様											
吉沼	プレイルーム 163.96㎡	10馬力(25kw) 4台											
手代木南	プレイルーム 263.66㎡ ※オープンスペース分 (79.16㎡)を含んで冷却計算を実施	10馬力(25kw) 4台											
竹園西	プレイルーム 218.033㎡ ※オープンスペース分 (56.753㎡)を含んで冷却計算を実施	10馬力(25kw) 4台											
事業の効果	児童の保育環境を健全に保ち、児童の身体及び生命を守ることができる。												

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03民生費 02児童福祉費 01児童福祉総務費 19子育て世帯臨時特別給付金給付事業に要する経費
事業名	つくば市独自の子育て世帯臨時特別給付金支給事業
担当課	こども部 こども政策課
事業期間	令和4年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減 A-B
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	
	24,000	24,000	0	0	0	0	0	24,000
扶助費	24,000	子育て世帯臨時特別給付金(市単独事業)					0	24,000
歳出内訳								

事業の目的	国の給付金において、基準日以降の離婚等により、国の給付金の対象となる児童を養育しているものの、当該給付金を受給できなかった者に対し、つくば市独自で同額の給付金を給付する。
事業の概要	<p>【支給対象者】 国の給付金の基準日以降の離婚、離婚協議中による別居、DV避難により、対象児童を養育しているものの、給付金を受給できなかった者</p> <p>【支給対象児童】 平成15年4月2日～令和4年3月31日までの間に出生した児童</p> <p>【支給見込数】 約120世帯(対象児童数240人)</p> <p>【支給額】 児童1人当たり一律10万円</p>
事業の効果	現に児童を養育しているにもかかわらず、基準日以降の離婚等によって、国の子育て世帯への臨時特別給付金において支給対象となることができなかった者に対し、市が独自に支援することにより、給付金本来の目的を達成することができる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 15 子ども・子育て支援に要する経費
事業名	ホームスタート事業
担当課	こども部 こども政策課
事業期間	令和2年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	22-1 妊娠や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	2,019	668	668	0	0	683	2,004	15
歳出内訳	2,019	ホームスタート事業委託料					2,004	15

事業の目的	子育てに不安や負担を感じている親の悩みに寄り添い、地域からの孤立や虐待を防ぐ〔ホームスタート事業〕
事業の概要	<p>子育てに不安や負担を感じている親から連絡を受け、その状況からオーガナイザー（※1）が支援計画を策定し、ホームビジター（※2）が利用者宅を訪問し、1回2時間程度、全4回程度、親の話を「傾聴」（気持ちを受け止めながら話を聴く）し、また、家事及び育児を「協働」して行う。</p> <p>※1 オーガナイザー 各利用者の支援内容のマネジメントや利用者とホームビジターとのマッチング等を行う。</p> <p>※2 ホームビジター 実際に利用者宅に訪問し利用者と共に家事育児をしながら過ごす伴走型の支援を行う。</p>
事業の効果	オーガナイザーやホームビジターが「傾聴」や「協働」といった支援を行うことで、子育てに対する不安や負担を解消し、地域から孤立や虐待を防ぐことができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 11 保育所運営に要する経費
事業名	公立保育所主食提供事業
担当課	こども部 幼児保育課
事業期間	令和3年度～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	27-1 公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し〔白米持参の慣行見直し〕

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	13,680	0	0	0	13,680	0	2,880	10,800
歳出内訳	給食材料費	13,680	給食材料費(白米)				2,880	10,800

事業の目的	公立保育所の3～5歳児クラスで実施している昼食用白米の持参を見直し、子育てしやすい環境の整備に向けて保育所での主食提供を実施する。
事業の概要	<p>○事業内容 主食と副食を提供する完全給食の実施 令和3年度4保育所 令和4年度12保育所 令和5年度7保育所 実施予定</p> <p>○令和4年度予算(案) 【歳出】 給食材料費 13,680,000円 (実施16保育所3、4、5歳児 950人×1,200円×12月)</p> <p>【歳入】 保育所運営費負担金 13,680,000円 (保護者より月額1,200円を徴収)</p>
事業の効果	完全給食を実施することにより、保護者の負担を軽減することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 04 保育所費 12 民間保育所運営に要する経費
事業名	保育士等処遇改善助成事業
担当課	こども部 幼児保育課
事業期間	平成29年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	24 市内保育所の定員拡充と月3万円の助成金による民間保育士確保の継続

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	313,200	0	0	0	0	313,200	309,600	3,600
歳出内訳	交付金	313,200	保育士等処遇改善助成金				309,600	3,600

事業の目的	保育士等の確保及び離職防止、質の高い保育の安定的な提供。
事業の概要	<p>○事業内容 民間保育所等に勤務する常勤の保育士等に対し、月額3万円の助成金を交付する</p> <p>○令和4年度予算案 313,200千円(月額30,000円×870人×12ヶ月)</p> <p>○令和4年度対象施設数 80施設(予定)</p> <p>○補助対象者 市内の私立保育所等(認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、一時預かり事業所及び病児保育事業所)に勤務する保育士等(保育士、保育教諭、助保育教諭、幼稚園教諭及び幼稚園助教諭)で、次のいずれにも該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 私立保育所等の設置者等と期間の定めのない労働契約を締結している者</li> <li>2) 1日の所定労働時間が6時間以上で、かつ、1月当たり20日以上勤務する者</li> <li>3) 設置者等から月によって定められた賃金を支払われる者</li> <li>4) 私立保育所等において、専ら乳幼児の保育業務に従事している者</li> <li>5) 設置者等の役員でない者</li> </ol>
事業の効果	保育の担い手となる保育士等の確保及び離職防止ができる。それにより、質の高い保育の安定的な提供及び、待機児童解消の一助とすることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 01 学校管理費 11 施設整備に要する経費
事業名	小学校特別教室空調設備設置事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	令和3年度～令和7年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	37 理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 (前年度繰越) B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	14,696	0	0	0	0	14,696	65,982	△ 51,286	
歳 出 内 訳	設計委託料	14,696	小学校特別教室空調設置工事設計委託料					0	14,696
	監理委託料	0						822	△ 822
	建築工事	0						65,160	△ 65,160

事業の目的	特別教室に空調設備を設置することで、教育環境の充実を図ること。																			
事業の概要	市内小学校を第Ⅰ期～第Ⅲ期のグループに分け、令和7年度までに順次設置する。 ・第Ⅰ期(令和4年度設計、令和5年度工事) 対象校 9校																			
	(単位:千円)																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>竹園東小</th> <th>荃崎一小</th> <th>松代小</th> <th>荃崎三小</th> <th>九重小</th> <th>要小</th> <th>栄小</th> <th>柳橋小</th> <th>沼崎小</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計委託料</td> <td>1,584</td> <td>1,584</td> <td>1,584</td> <td>1,584</td> <td>1,771</td> <td>1,606</td> <td>1,771</td> <td>1,606</td> <td>1,606</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	竹園東小	荃崎一小	松代小	荃崎三小	九重小	要小	栄小	柳橋小	沼崎小	設計委託料	1,584	1,584	1,584	1,584	1,771	1,606	1,771	1,606
学校名	竹園東小	荃崎一小	松代小	荃崎三小	九重小	要小	栄小	柳橋小	沼崎小											
設計委託料	1,584	1,584	1,584	1,584	1,771	1,606	1,771	1,606	1,606											
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅱ期(令和5年度設計、令和6年度工事) 対象校 10校 吾妻小、手代木南小、東小、並木小、谷田部小、二の宮小、大曾根小、栗原小、葛城小、前野小</li> <li>・第Ⅲ期(令和6年度設計、令和7年度工事) 対象校 10校 今鹿島小、谷田部南小、桜南小、島名小、上郷小、真瀬小、吉沼小、荃崎二小、小野川小、竹園西小</li> </ul> <p>※春日学園義務教育学校、秀峰筑波義務教育学校、学園の森義務教育学校及びみどりの学園義務教育学校については、整備済み</p>																			
事業の効果	教育環境の充実を図ることができる。																			

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 03 中学校費 01 学校管理費 11 施設整備に要する経費
事業名	中学校特別教室空調設備設置事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	令和2年度 ～ 令和4年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	37 理科室・音楽室等の特別教室のエアコン設置を推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 (前年度繰越) B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	348,183	45,316	0	226,500	0	76,367	329,961	18,222	
歳 出 内 訳	監理委託料	4,488	中学校特別教室空調設置工事監理委託料					4,998	△ 510
	建築工事	343,695	中学校特別教室空調設置工事					314,568	29,127
	設計委託料	0						10,395	△ 10,395

事業の目的	特別教室に空調設備を設置することで、教育環境の充実を図ること。
事業の概要	<p>以下の6校の特別教室に空調設備を設置する。なお、令和4年度の工事により、市内全中学校の特別教室への空調設置が完了する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並木中学校（理科室2室、美術室2室、技術室1室、音楽室2室 家庭科室2室 配膳室1室 計 1,069㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：60,456,000円</li> <li>・桜中学校（理科室1室、美術室1室、技術室1室、音楽室1室 家庭科室1室、図書室1室、配膳室1室 計 689㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：52,932,000円</li> <li>・吾妻中学校（理科室1室、美術室1室、技術室1室、音楽室1室 家庭科室2室、外国語教室1室、配膳室1室 計 701㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：54,131,000円</li> <li>・谷田部東中学校（理科室2室、美術室1室、技術室1室、音楽室2室 家庭科室2室、図書室1室、配膳室1室 計 1,063㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：64,955,000円</li> <li>・豊里中学校（理科室2室、美術室1室、技術室1室、音楽室1室 家庭科室2室 配膳室1室 計 909㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：51,909,000円</li> <li>・大穂中学校（理科室2室、美術室1室、技術室2室、音楽室1室 家庭科室2室 配膳室1室 計 1,114㎡） 監理委託料：748,000円 工事請負費：59,312,000円</li> </ul>
事業の効果	教育環境の充実を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 03 学校建設費 12 (仮称) 香取台地区小学校建設に要する経費
事業名	(仮称) 香取台地区小学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和3年度 ~ 令和4年度 (設計) 令和元年度 ~ 令和2年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,272,609	699,534	0	1,043,400	358,289	171,386	953,146	1,319,463	
歳出内訳	監理委託料	30,461	(仮称) 香取台地区小学校建設工事監理委託料					17,487	12,974
	建築工事	2,070,762	(仮称) 香取台地区小学校建設工事					935,659	1,135,103
	備品購入費	171,386	開校準備用備品(机、椅子等)					0	171,386

事業の目的	児童数増加による島名小学校の教室不足に対応すること。																																								
事業の概要	<p>○(仮称) 香取台地区小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎(RC造3階) 7,082㎡(普通教室18室、特別支援教室4室、図書メディア室、異学年交流スペース、相談室、印刷室、自家発電装置等)</li> <li>体育館(S造1階) 1,107㎡</li> <li>開校時期 令和5年4月予定</li> </ul> <p>○予算(3月補正で継続費変更後)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源 基金繰入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>887,470</td> <td>13,055</td> <td>0</td> <td>900,525</td> <td>299,802</td> <td>447,000</td> <td>0</td> <td>153,723</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>2,070,762</td> <td>30,461</td> <td>171,386</td> <td>2,272,609</td> <td>699,534</td> <td>1,043,400</td> <td>150,425</td> <td>379,250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,958,232</td> <td>43,516</td> <td>171,386</td> <td>3,173,134</td> <td>999,336</td> <td>1,490,400</td> <td>150,425</td> <td>532,973</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置及び災害用井戸を備えた、コミュニティスペースと児童クラブを配置する複合施設を建設(No.40参照)</p>		工事	監理	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入	R3年度	887,470	13,055	0	900,525	299,802	447,000	0	153,723	R4年度	2,070,762	30,461	171,386	2,272,609	699,534	1,043,400	150,425	379,250	合計	2,958,232	43,516	171,386	3,173,134	999,336	1,490,400	150,425	532,973
	工事						監理	備品購入	合計	財源内訳																															
		国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入																																				
R3年度	887,470	13,055	0	900,525	299,802	447,000	0	153,723																																	
R4年度	2,070,762	30,461	171,386	2,272,609	699,534	1,043,400	150,425	379,250																																	
合計	2,958,232	43,516	171,386	3,173,134	999,336	1,490,400	150,425	532,973																																	
事業の効果	島名小学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																								

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 03 学校建設費 13 (仮称) 研究学園小学校建設に要する経費
事業名	(仮称) 研究学園小学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和3年度 ~ 令和4年度 (設計) 令和元年度 ~ 令和2年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	2,546,244	752,323	0	1,268,800	370,365	154,756	1,164,529	1,381,715	
歳出内訳	監理委託料	28,456	(仮称) 研究学園小学校建設工事監理委託料					15,849	12,607
	監理委託料	3,676	(仮称) 研究学園小学校拡張グラウンド整備工事監理委託料					1,576	2,100
	建築工事	2,170,731	(仮称) 研究学園小学校建設工事					1,065,660	1,105,071
	土木工事	188,625	(仮称) 研究学園小学校拡張グラウンド整備工事					81,444	107,181
	備品購入費	154,756	開校準備用備品(机、椅子等)					0	154,756

事業の目的	児童数増加による学園の森義務教育学校の教室不足に対応すること。																																								
事業の概要	<p>○(仮称) 研究学園小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎(RC造3階) 6,975㎡(普通教室18室、特別支援教室4室、図書室、ワークスペース、その他特別教室等)</li> <li>体育館(RC造1階) 1,182㎡</li> <li>開校時期 令和5年4月予定</li> </ul> <p>○予算(3月補正で継続費変更後)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源 基金繰入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>1,011,152</td> <td>13,772</td> <td>0</td> <td>1,024,924</td> <td>322,433</td> <td>543,500</td> <td>0</td> <td>158,991</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>2,359,356</td> <td>32,132</td> <td>154,756</td> <td>2,546,244</td> <td>752,323</td> <td>1,268,800</td> <td>122,486</td> <td>402,635</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,370,508</td> <td>45,904</td> <td>154,756</td> <td>3,571,168</td> <td>1,074,756</td> <td>1,812,300</td> <td>122,486</td> <td>561,626</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置及び災害用井戸を整備 (No. 40参照)</p>		工事	監理	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入	R3年度	1,011,152	13,772	0	1,024,924	322,433	543,500	0	158,991	R4年度	2,359,356	32,132	154,756	2,546,244	752,323	1,268,800	122,486	402,635	合計	3,370,508	45,904	154,756	3,571,168	1,074,756	1,812,300	122,486	561,626
	工事						監理	備品購入	合計	財源内訳																															
		国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入																																				
R3年度	1,011,152	13,772	0	1,024,924	322,433	543,500	0	158,991																																	
R4年度	2,359,356	32,132	154,756	2,546,244	752,323	1,268,800	122,486	402,635																																	
合計	3,370,508	45,904	154,756	3,571,168	1,074,756	1,812,300	122,486	561,626																																	
事業の効果	学園の森義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																								

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 03 中学校費 03 学校建設費 12 (仮称) 研究学園中学校建設に要する経費
事業名	(仮称) 研究学園中学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和3年度 ~ 令和4年度 (設計) 令和元年度 ~ 令和2年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,946,224	549,208	0	983,000	292,394	121,622	892,421	1,053,803	
歳出内訳	監理委託料	22,365	(仮称) 研究学園中学校建設工事監理委託料					12,470	9,895
	監理委託料	1,838	(仮称) 研究学園中学校拡張グラウンド整備工事監理委託料					788	1,050
	建築工事	1,706,086	(仮称) 研究学園中学校建設工事					838,441	867,645
	土木工事	94,313	(仮称) 研究学園中学校拡張グラウンド整備工事					40,722	53,591
	備品購入費	121,622	開校準備用備品(机、椅子等)					0	121,622

事業の目的	児童数増加による学園の森義務教育学校の教室不足に対応すること。																																								
事業の概要	<p>○(仮称) 研究学園中学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎(RC造3階) 4,790㎡(普通教室6室、特別支援教室2室、図書室、ワークスペース、その他特別教室等)</li> <li>体育館(RC造1階) 1,177㎡</li> <li>開校時期 令和5年4月予定</li> </ul> <p>○予算(3月補正で継続費変更後)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">備品購入</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源 基金繰入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度</td> <td>771,600</td> <td>10,373</td> <td>0</td> <td>781,973</td> <td>235,390</td> <td>420,900</td> <td>0</td> <td>125,683</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>1,800,399</td> <td>24,203</td> <td>121,622</td> <td>1,946,224</td> <td>549,208</td> <td>983,000</td> <td>84,116</td> <td>329,900</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,571,999</td> <td>34,576</td> <td>121,622</td> <td>2,728,197</td> <td>784,598</td> <td>1,403,900</td> <td>84,116</td> <td>455,583</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置及び災害用井戸を整備 (No. 40参照)</p>		工事	監理	備品購入	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入	R3年度	771,600	10,373	0	781,973	235,390	420,900	0	125,683	R4年度	1,800,399	24,203	121,622	1,946,224	549,208	983,000	84,116	329,900	合計	2,571,999	34,576	121,622	2,728,197	784,598	1,403,900	84,116	455,583
	工事						監理	備品購入	合計	財源内訳																															
		国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入																																				
R3年度	771,600	10,373	0	781,973	235,390	420,900	0	125,683																																	
R4年度	1,800,399	24,203	121,622	1,946,224	549,208	983,000	84,116	329,900																																	
合計	2,571,999	34,576	121,622	2,728,197	784,598	1,403,900	84,116	455,583																																	
事業の効果	学園の森義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																								



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 03 学校建設費 14 (仮称) みどりの南小学校建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの南小学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和4年度 ~ 令和5年度 (設計) 令和2年度 ~ 令和3年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,285,588	345,120	0	758,000	182,468	0	148,056	1,137,532	
歳出内訳	設計委託料	0	(仮称) みどりの南小学校建築工事設計委託料					148,056	△ 148,056
	監理委託料	14,153	(仮称) みどりの南小学校建設工事監理委託料					0	14,153
	建築工事	1,271,435	(仮称) みどりの南小学校建設工事					0	1,271,435

事業の目的	児童数増加によるみどりの学園義務教育学校の教室不足に対応すること。																																				
事業の概要	<p>○(仮称) みどりの南小学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎(RC造3階) 約8,500㎡ (普通教室25室 特別支援教室5室程度、図書室、多目的室、その他特別教室等)</li> <li>体育館(RC造1階) 約1,200㎡</li> <li>開校時期 令和6年4月予定</li> </ul> <p>○予算(令和4年度当初予算)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源 基金繰入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>1,271,435</td> <td>14,153</td> <td>1,285,588</td> <td>345,120</td> <td>758,000</td> <td>0</td> <td>182,468</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>2,966,681</td> <td>33,023</td> <td>2,999,704</td> <td>805,280</td> <td>1,769,100</td> <td>0</td> <td>425,324</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,238,116</td> <td>47,176</td> <td>4,285,292</td> <td>1,150,400</td> <td>2,527,100</td> <td>0</td> <td>607,792</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置を整備 (No. 40参照)</p>		工事	監理	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入	R4年度	1,271,435	14,153	1,285,588	345,120	758,000	0	182,468	R5年度	2,966,681	33,023	2,999,704	805,280	1,769,100	0	425,324	合計	4,238,116	47,176	4,285,292	1,150,400	2,527,100	0	607,792
	工事					監理	合計	財源内訳																													
		国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入																																
R4年度	1,271,435	14,153	1,285,588	345,120	758,000	0	182,468																														
R5年度	2,966,681	33,023	2,999,704	805,280	1,769,100	0	425,324																														
合計	4,238,116	47,176	4,285,292	1,150,400	2,527,100	0	607,792																														
事業の効果	みどりの学園義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																				

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 03 中学校費 03 学校建設費 13 (仮称) みどりの南中学校建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの南中学校建設事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和4年度 ~ 令和5年度 (設計) 令和2年度 ~ 令和3年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	38 つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設 101 つくばエクスプレス沿線の新設校を地域住民の施設利用や交流も行えるよう設計

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	965,132	184,052	0	621,100	159,980	0	74,028	891,104	
歳出内訳	設計委託料	0	(仮称) みどりの南中学校建築工事設計委託料					74,028	△ 74,028
	監理委託料	10,625	(仮称) みどりの南中学校建設工事監理委託料					0	10,625
	建築工事	954,507	(仮称) みどりの南中学校建設工事					0	954,507

事業の目的	児童数増加によるみどりの学園義務教育学校の教室不足に対応すること。																																				
事業の概要	<p>○ (仮称) みどりの南中学校の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎 (RC造3階) 約4,200㎡ (普通教室 5室、特別支援教室 1室程度、図書室、多目的室、その他特別教室等)</li> <li>体育館 (RC造1階) 約1,300㎡</li> <li>武道場 (RC造1階) 約450㎡</li> <li>開校時期 令和6年4月予定</li> </ul> <p>○ 予算 (令和4年度当初予算)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源 基金繰入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>954,507</td> <td>10,625</td> <td>965,132</td> <td>184,052</td> <td>621,100</td> <td>0</td> <td>159,980</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>2,227,182</td> <td>24,792</td> <td>2,251,974</td> <td>429,513</td> <td>1,449,900</td> <td>0</td> <td>372,561</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,181,689</td> <td>35,417</td> <td>3,217,106</td> <td>613,565</td> <td>2,071,000</td> <td>0</td> <td>532,541</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 同一敷地内に自家発電装置を整備 (No. 40参照)</p>		工事	監理	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入	R4年度	954,507	10,625	965,132	184,052	621,100	0	159,980	R5年度	2,227,182	24,792	2,251,974	429,513	1,449,900	0	372,561	合計	3,181,689	35,417	3,217,106	613,565	2,071,000	0	532,541
	工事					監理	合計	財源内訳																													
		国庫補助	地方債	その他	一般財源 基金繰入																																
R4年度	954,507	10,625	965,132	184,052	621,100	0	159,980																														
R5年度	2,227,182	24,792	2,251,974	429,513	1,449,900	0	372,561																														
合計	3,181,689	35,417	3,217,106	613,565	2,071,000	0	532,541																														
事業の効果	みどりの学園義務教育学校の教室不足の可能性を解消することができ、児童のよりよい教育環境を整備することができる。																																				

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 04 幼稚園費 01 幼稚園費 11 施設整備に要する経費
事業名	(仮称) 荃崎地区幼稚園移転改修事業
担当課	教育局 教育施設課
事業期間	(工事) 令和4年度 (設計) 令和3年度 (補正予算で対応)
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	28 公立幼稚園での満3歳からの受け入れを対応可能な園から試行的に開始

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	208,468	19,639	0	136,100	0	52,729	0	208,468	
歳 出 内 訳	監理委託料	2,548	(仮称) 荃崎地区幼稚園移転改修工事監理委託料					0	2,548
	維持改修工事	199,739	(仮称) 荃崎地区幼稚園移転改修工事					0	199,739
	備品購入費	6,181	(仮称) 荃崎地区幼稚園備品購入費					0	6,181

事業の目的	満3歳児の受入れ及び園舎等施設の老朽化に対応するため、高崎幼稚園及び岩崎幼稚園を統合し、令和5年4月に荃崎第三小学校の空き教室に移転する。
事業の概要	<p>○ (仮称) 荃崎地区幼稚園移転改修事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荃崎第三小学校の1階、2階の空き教室および敷地の一部を幼稚園で使用するために改修する。</li> <li>・主な整備室 保育室6室、遊戯室1室、職員室、多目的室等を整備</li> <li>・主な整備内容 内装改修、エアコン設置、園児用途トイレへの改修、園庭整備等</li> </ul> <p>※令和3年度6月議会で設計委託料を予算化した。</p>
事業の効果	老朽化した施設から移転することで、園児のよりよい教育環境を整備することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 06 保健体育費 03 学校給食費 15 給食センター建設に要する経費
事業名	(仮称) 新桜学校給食センター建設事業
担当課	教育局 健康教育課
事業期間	令和3年度 ~ 令和6年度
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	41 児童生徒増加に対応するため給食センターの提供可能数を増加

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	38,397	0	0	0	0	38,397	22,064	16,333
設計委託料	38,397	(仮称) 新桜学校給食センター建設工事設計委託料					22,064	16,333
歳出内訳								

事業の目的	児童生徒が急増する中、必要食数を継続的に提供するため、さらに学校給食衛生管理基準への適合や食物アレルギーへの対応等の課題解決を図るため、新しい学校給食センターを建設する。
事業の概要	<p>○(仮称) 新桜学校給食センターの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設予定地 つくば市天王台2丁目2番地2 (敷地面積10,037㎡)</li> <li>建設規模 延床面積3,600㎡程度、鉄骨造2階建て、調理能力7,000食</li> <li>事業スケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3~4年度 基本・実施設計</li> <li>令和5~6年度 建設工事</li> <li>令和7年4月 供用開始</li> </ul> </li> </ul> <p>○予算(3月補正で継続費変更後) 設計委託料 合計 54,853千円 (令和3年度 16,456千円 令和4年度 38,397千円)</p> <p>(参考) 旧桜学校給食センター解体事業 令和3年度 2,409千円 (設計委託料) 令和4年度 207,171千円 (工事及び残置物処分費)</p>
事業の効果	安心・安全な学校給食を安定して提供していくことができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 28 不登校児童生徒学習支援に要する経費
事業名	不登校児童生徒学習支援事業
担当課	教育局 学び推進課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	32 公民連携で推進するフリースクールにより不登校の児童生徒が安心して通える居場所を確保

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	21,450	0	0	0	0	21,450	14,648	6,802
歳出内訳	委託料	21,450	不登校児童生徒学習支援委託料				0	21,450
	負担金	0	不登校児童生徒学習支援事業負担金				14,648	△ 14,648

事業の目的	不登校児童生徒に対し、集団ではなく、個に応じた様々な学習機会の提供及びオンラインによる支援等、これまで行った実証で得た知見を活用し、つくば市が専門的知見を持つ民間事業者に業務を委託し、不登校児童生徒の社会的自立へ向けた進路の選択肢を広げる支援を行うことを目的とする。
事業の概要	<p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な実施内容 : 学習支援、新たな支援方法による支援、居場所作り</li> <li>・実施場所 : つくば市産業振興センター1階(つくば市吾妻二丁目5番地1)</li> <li>・対象者及び定員 : 市に居住する小学生、中学生、40名程度</li> <li>・実施日程 : 平日週4日</li> <li>・運営形態 : 民間事業者へ委託(令和4～6年度)</li> </ul> <p>○委託料について</p> <p>年間 21,450千円(税込)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 18,519千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>監督責任者 1名</li> <li>学習支援員 6名(5.5時間/日 週4日)</li> <li>スクールカウンセラー 1名(5.5時間/日 週1日)</li> <li>相談員 1名(5.5時間/日 週1日)</li> <li>事務員 1名(5.5時間/日 週1日)</li> </ul> </li> <li>・謝金(外部講師等) 332千円</li> <li>・その他(研修費、賃借料、旅費等) 649千円</li> </ul>
事業の効果	不登校児童生徒の支援を行うことで、社会的自立に資することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 01 社会教育総務費 20 コミュニティ・スクールに要する経費
事業名	コミュニティ・スクール導入事業
担当課	教育局 生涯学習推進課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	692	0	0	0	0	692	0	692	
歳出内訳	報償費	446	推進委員、地域コーディネーター等謝礼					0	446
	旅費	160	研修参加等に係る費用弁償、普通旅費、特別旅費					0	160
	需用費	40	事務用消耗品費					0	40
	役務費	40	コミュニティ・スクール傷害保険料					0	40
	負担金補助及び交付金	6	コミュニティ・スクール研究発表参加費					0	6

事業の目的	つくば市のまちづくりにおける基本的な指針である「つくば市未来構想」、教育全般の方向性・在り方を示す指針である「つくば市教育大綱」に基づき、保護者・学校・地域・行政が協力し、子どもを社会全体で育てる持続可能な仕組みを持った地域とともにある学校を目指す。
事業の概要	<p>コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している(学校地教法第47条の5)学校。学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い「地域とともにある学校」の仕組みづくりを進めていく。令和4年度に1学園をモデル校として導入。年度ごとに導入校を増やし、令和7年度末までに市内全小・中学校、義務教育学校(18学園)へコミュニティ・スクールを導入する予定。</p> <p>主な費用:【報償費】446千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクール推進委員 1学園で上限30人(うち12人は教職員のため無報酬) 18人×2,000円×6回 216千円</li> <li>地域コーディネーター 2人×2,000円×20時間 80千円</li> <li>コミュニティ・スクール周知のため保護者・地域・教員向けの研修会 30,000円×5回 150千円</li> </ul> <p>【旅費】160千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>費用弁償 片道37円×8km往復 32人×4回分 76千円</li> <li>普通旅費 コミュニティ・スクール先進地視察 4千円</li> <li>特別旅費 全国コミュニティ・スクール研究大会(大分県) 80千円</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校が連携協力し、積極的に子どもへの教育に携わることができる。</li> <li>保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を展開できる。</li> <li>地域の方々の経験を生かすことで子どもたちの学びや体験が充実する。また、大人の学びにもつながり、生きがいにもつながる。</li> <li>防犯、防災の面、大規模災害時等、緊急な対応が必要な場面においても、学校と地域が一体となり、迅速かつ組織的な対応が期待できる。</li> <li>学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよりどころとなることが期待できる。</li> </ul>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 17 つくば市教育相談センター運営に要する経費
事業名	教育相談対応事業
担当課	教育局 教育相談センター
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	31,308	0	0	0	0	31,308	17,484	13,824
歳出内訳	報償費	8,820	スクールカウンセラー謝礼				2,640	6,180
	報償費	15,288	スクールソーシャルワーカー謝礼				7,644	7,644
	報償費	7,200	学校生活相談員(旧 学校生活サポーター)謝礼				7,200	0

事業の目的	学校における相談体制を充実させる。
事業の概要	<p>①スクールカウンセラー配置 7名(前年比 5名増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心理学に基づくカウンセリングを受けられる環境を整備</li> <li>配置及び予算 7時間/日×年間 36日(県事業と同様)×7名×5,000円/時</li> <li>※県事業で12名配置を想定(前年同数)し、1名あたり3校程度担当</li> </ul> <p>②スクールソーシャルワーカー配置 8名(前年比 4名増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他機関(教育・福祉・病院・警察など)と連携し、諸制度を活用しつつ、児童生徒の環境状況の改善を図る。</li> <li>配置及び予算 6時間/日×年間 91日×8名×3,500円/時</li> <li>※県のスクールソーシャルワーカー派遣事業の制度的な問題点(活用上限や申請方法等の煩雑さ、時間的なタイムロス)を鑑み、市独自でスクールソーシャルワーカーを配置・派遣することで、教育現場での相談体制の強化を図る。</li> </ul> <p>③学校生活相談員(旧 学校生活サポーター)配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度からつくば市独自に実施している中学生を対象とした悩み相談事業。登校しぶりや様々な悩みを抱える生徒に対し、相談員がよき聞き手、見守り役となる。</li> <li>教員ではない立ち位置から、学校から支援が行き届きにくい生徒への相談相手となることで幅広い相談支援の充実を図る。</li> <li>配置及び予算 中学校及び義務教育学校(後期課程)16校に2名配置(450時間/校)年間 450時間×16校×1,000円/時</li> </ul>
事業の効果	学校相談体制をさらに充実させること(上記記載のとおり大幅増員)で、より専門的に、より細やかに、より多様性に富んだ児童生徒に寄り添う支援を行うことができ、教員の負担軽減の効果も見込まれる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	小中学校への学校サポーターの配置
担当課	教育局 教育総務課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	84,498	0	0	0	0	84,498	0	84,498	
歳 出 内 訳	報酬	75,609	学校サポーター報酬					0	75,609
	費用弁償	8,889	費用弁償(会計年度任用職員)					0	8,889

事業の目的	市独自に学校サポーターを107名配置することで、教職員と多様な人材の連携により、学校教育活動の充実と教職員の働き方改革を実現する。
事業の概要	<p>教職員の負担軽減を図り、教職員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、学習プリント等の準備や採点業務、来客・電話対応、消毒作業等をサポートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 1,093円/時 × 3時間/日 × 213日/年 × 107人 ≒ 74,732千円</li> <li>・時間外勤務手当 1,366円/時 × 6時間/年 × 107人 ≒ 877千円</li> <li>・費用弁償 390円/日 × 213日/年 × 107人 ≒ 8,889千円</li> </ul> <p>○学校サポーターの職務内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習プリントや家庭への配布文書等の各種資料の印刷、配布準備</li> <li>(2) 採点業務の補助</li> <li>(3) 来客対応や電話対応</li> <li>(4) 学校行事や式典等の準備補助</li> <li>(5) 各種データの入力・集計・掲示物の張替、各種資料の整理等の作業</li> <li>(6) 教室等の消毒作業</li> <li>(7) その他、教職員が指示した業務</li> </ol>
事業の効果	教職員の業務負担を軽減することで、子どもたちに向き合う時間を確保し、子どもたちのより良い教育の推進につながる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 01 教育総務費 02 事務局費 06 会計年度任用職員に要する経費
事業名	小中学校への外国語指導助手（ALT）の増員
担当課	教育局 教育総務課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	132,071	0	0	0	0	132,071	109,623	22,448
歳出内訳	給料	98,820	外国語指導助手職員給				84,924	13,896
	職員手当等	3,276	通勤手当（会計年度任用職員）				2,659	617
		925	時間外勤務手当（会計年度任用職員フルタイム）				371	554
		13,238	期末手当（会計年度任用職員フルタイム）				8,081	5,157
		15,812	地域手当（会計年度任用職員）				13,588	2,224

事業の目的	教員の英語指導の補助及び児童生徒の実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解の推進
事業の概要	<p>1 外国語指導助手の主な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の授業に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業準備段階や授業に関わる指導補助</li> <li>・児童及び生徒に対する外国語指導の補助</li> <li>・英語の免許を持たない小学校教諭の指導能力向上のための支援</li> </ul> </li> <li>○授業以外の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語担当教員に対する英語研修の補助</li> <li>・外国語教育教材の作成</li> <li>・帰国・外国人児童生徒（市内約710名）や保護者への支援（翻訳・通訳等）</li> <li>・国際理解集会の講師</li> <li>・児童及び生徒のクラブ活動等課外活動への協力</li> <li>・英語プレゼンテーションフォーラム（茨城県事業）に向けた指導及び審査協力</li> <li>・幼稚園行事等への協力</li> <li>・その他外国語教育等に関する諸業務</li> </ul> </li> </ul> <p>2 配置人数 35名（前年5名増）</p> <p>3 予算の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給料 月額 208,500円～270,000円 × 35人 × 12月 ≒ 98,820千円</li> <li>・地域手当 給料 × 16% ≒ 15,812千円</li> <li>・期末手当 給料 × 0.725 × 2回（ただし、新規採用の1回分は満額にならない）</li> </ul>
事業の効果	現状一部の学校で、外国語指導助手が授業に入るべき時間に常時入ることが困難となっているが、全校一律の割合で授業に入ることができる。それにより、より一層の児童生徒の個別・双方向の学びの充実と、実体験を通じた学習意欲の向上、異文化理解の浸透が見込める。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 02 教育振興費 17 ICT教育推進に要する経費 03 中学校費 02 教育振興費 17 ICT教育推進に要する経費
事業名	授業ライブ配信事業
担当課	教育局 教育相談センター、総合教育研究所
事業期間	令和4年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	3,583	1,790	0	0	0	1,793	0	3,583	
歳出内訳	需用費	2,729	Webカメラ購入費(小学校費)					0	2,729
	需用費	854	Webカメラ購入費(中学校費)					0	854

事業の目的	オンライン学習の充実
事業の概要	<p>○事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webカメラ(広角レンズ、マイク一体型)を活用して休校時に各学校から各家庭に対して教室からライブ配信を行うことで学習の充実を図り、子供たちの学びの継続を図る。</li> <li>Webカメラ(広角レンズ、マイク一体型)を活用して教室内の授業のライブ配信や、ワークシート、教材の配信などを行うことで、不登校児童生徒への学習支援の充実を図る。</li> </ul> <p>○予算</p> <p>【歳入(国庫補助金):1,790千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公立学校情報機器整備費補助金(補助率1/2)</li> </ul> <p>【小学校費:2,729千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webカメラ購入台数:275台(9,922円/台)</li> <li>配置基準:各小学校及び義務教育学校前期課程1学年当たり1台(3クラス以上の場合は1台追加)</li> </ul> <p>【中学校費:854千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webカメラ購入台数:86台(9,922円/台)</li> <li>配置基準:各中学校及び義務教育学校後期課程1学年当たり1台(4クラス以上の場合は1台追加)</li> </ul>
事業の効果	休校や不登校など、登校できない場合にWebカメラを活用することで、オンライン学習を充実することができ、児童生徒の学びを保障することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 02 小学校費 02 教育振興費 17 ICT教育推進に要する経費 03 中学校費 02 教育振興費 17 ICT教育推進に要する経費
事業名	ICT教育推進事業
担当課	教育局 総合教育研究所
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	36 2020年度中の一人一台の児童生徒用パソコン整備

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	426,710	0	0	0	0	426,710	386,474	40,236	
歳 出 内 訳	賃借料	266,459	教育用コンピュータ賃借料(小学校費)					247,999	18,460
	賃借料	129,331	教育用コンピュータ賃借料(中学校費)					113,825	15,506
	賃借料	13,392	電子黒板賃借料(小学校費)					7,655	5,737
	賃借料	17,528	電子黒板賃借料(中学校費)					16,995	533

事業の目的	文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」の実現及び新型コロナウイルス感染症予防におけるオンライン学習を推進するため、児童・生徒1人当たり1台の教育用コンピュータ端末と電子黒板を整備するもの。
事業の概要	<p>◎教育用コンピュータ賃借</p> <p>【パソコン配置状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年2月末のパソコン配置台数 : 22,281台 (内訳) 令和2年3月までに配備した台数 : 1,819台 令和2年4月以降に配備した台数 : 20,462台</li> </ul> <p>【令和4年度追加配備】令和4年5月から5年間の賃貸借契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年3月までに配備したパソコン1,819台を更新し、すべて同一の用途で使用できるパソコンに統一する。</li> <li>令和4年度中の児童・生徒の転入等に伴う増加に対応するため、559台を追加配備する。</li> </ul> <p>○予算</p> <p>【小学校費 : 266,459千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うち令和4年度追加配備1,246台分 : 21,366千円</li> </ul> <p>【中学校費 : 129,331千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うち令和4年度追加配備1,132台分 : 19,409千円</li> </ul> <p>◎電子黒板賃借</p> <p>【電子黒板配置状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年2月末の電子黒板配置台数 : 737台 (内訳) 小学校及び義務教育学校前期課程 : 483台 中学校及び義務教育学校後期課程 : 254台</li> </ul> <p>【令和4年度追加配備】令和4年9月から5年間の賃貸借契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未設置教室及び増加見込み教室分153台の追加配備</li> </ul> <p>○予算</p> <p>【小学校費 : 13,392千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うち令和4年度追加配備140台分 : 5,737千円</li> </ul> <p>【中学校費 : 17,528千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うち令和4年度追加配備 13台分 : 533千円</li> </ul>
事業の効果	1人当たり1台の教育用コンピュータ端末及び普通教室に電子黒板を整備することにより、通常登校時だけでなく、休校時等においても同様に双方向による問題解決学習を展開することができる。また、感染症予防対策として教室を分散して授業を行うなど、通常時と異なる状況下においても学びを止めずに児童・生徒の学習の機会を確保する教育ICT環境を整備することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 03 生活保護費 01 生活保護総務費 12 生活困窮者自立支援事業に要する経費
事業名	生活困窮者自立支援事業
担当課	福祉部 社会福祉課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	52,132	38,367	0	0	0	13,765	37,410	14,722
歳出内訳	委託料	33,527	生活困窮者自立支援事業委託料				24,137	9,390
	負担金	2,081	一時生活支援事業広域実施負担金				0	2,081
	扶助費	16,524	住居確保給付金				13,273	3,251

事業の目的	平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づく事業生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対して包括的な支援を行う。
事業の概要	<p>○自立相談支援事業（必須事業） 生活困窮者及び生活困窮者の家族等からの相談に応じ、アセスメントを実施して個々人の状態にあったプランを作成し、必要なサービスの提供につなげる。</p> <p>○住居確保給付金支給事業（必須事業） 離職や減収により経済的に困窮し、住居喪失のおそれがある方に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給し、住居及び就労機会等の確保に向けた支援を行う。 【支給期間】原則3か月（最長9か月まで延長可能） 【支給額】家賃相当額（世帯人数により支給上限あり：単身3.4万/月、2人4.1万/月等）</p> <p>○就労準備支援事業（任意事業） 一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に従事する準備支援を行う。</p> <p>○家計改善支援事業（任意事業） 家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計に関するアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す取組みを行う。</p> <p>○子どもの学習・生活支援事業（任意事業）*こども未来室所管 「貧困の連鎖」を防止するため、生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯の子どもを対象に①学習支援、②生活習慣等の改善に関する助言、③進路選択に関する相談支援を行う。</p> <p>【新規事業】 ○一時生活支援事業（任意事業） 住居のない生活困窮者で、収入等が一定水準以下の方に対して、一定期間（原則3か月）内に限り、宿泊場所や衣食の供与等を行う。県が協定を結んだ市と広域で実施している事業に令和4年度より参加して実施する。</p> <p>※事業数の増加にとともに、支援対象者の増加が見込まれるため、相談員の人員を1名増員し、支援体制を強化します。（現在3名→4名）</p>
事業の効果	生活困窮者の状況に応じた包括的な支援を行うことにより、様々な課題を抱えた生活困窮者の課題解決と自立に寄与することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 03 生活保護費 01 生活保護総務費 12 生活困窮者自立支援事業に要する経費
事業名	生活困窮者支援生理用品配布事業
担当課	福祉部 社会福祉課
事業期間	令和4年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	1,331	1,331	0	0	0	0	0	1,331
歳 出 内 訳	1,320	生活困窮者支援生理用品					0	1,320
	8	配布用紙袋					0	8
	3	配布案内用紙					0	3

事業の目的	経済的困窮等を理由に生理用品の入手が困難な方を支援する目的として、生理用品を無償で配布する。
事業の概要	<p>【対 象】 市内在住で、経済的に生理用品の入手が困難な方</p> <p>【物 品】 生理用品 300セット (1セット:昼・夜用各1パック)</p> <p>【配布場所】 社会福祉課、保健センター(大穂・桜・谷田部)、子育て相談室</p> <p>【配布方法】 1セット(昼用、夜用各1パック)を紙袋に入れ配布する。 *生活困窮者の相談窓口リーフレット同封</p> <p>【周知方法】 ホームページ、ツイッター等</p>
事業の効果	配布を通して必要な支援につなげるきっかけづくりとする。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 03 障害者福祉費 16 障害福祉サービスに要する経費
事業名	重度障害者等就労支援特別事業
担当課	福祉部 障害福祉課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-1 地域が支え合い、医療、介護、福祉が充実したまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	8,263	2,685	1,342	0	0	4,236	0	8,263
歳出内訳	8,263	重度障害者等就労支援特別事業					0	8,263

事業の目的	就労中の重度障害者等への介助等を実施する。
事業の概要	<p>○事業概要</p> <p>障害福祉サービスでは、就労中の支援は雇用する企業等が行う前提となっているため、障害者の就業中に必要となる「重度訪問介護」、「同行援護」、「行動援護」の利用はできず、企業側で介助者の確保が必要となっていた。</p> <p>本事業を実施することにより、就労時に支援が必要となる重度障害者に「重度訪問介護」、「同行援護」、「行動援護」の障害福祉サービスと同等のサービスを提供することが可能となる。</p>
事業の効果	就労を望む障害者の就労を支援することで、福祉の増進を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 03 障害者福祉費 18 地域生活支援に要する経費
事業名	心身障害者鉄道・バス利用料金助成事業
担当課	福祉部 障害者地域支援室
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	55 障害者福祉タクシー利用料金助成についてタクシーを利用しない場合に他の交通手段の助成を選べる選択制へ

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	17,469	0	0	0	0	17,469	0	17,469
扶助費	17,469	心身障害者鉄道・バス利用料金助成事業					0	17,469
歳出内訳								

事業の目的	重度障害者がバス・鉄道を利用して移動する際の運賃の一部を助成することにより、障害者の社会参加を促進し、福祉の推進を図る。
事業の概要	<p>○事業概要            障害者の移動に関して、従来から提供するタクシー利用の際の運賃助成のほかに、重度障害者に限り、交通系ICカードを使用し、電車・バスを利用した場合に運賃助成を行うもの。(タクシー運賃助成との併用不可)</p> <p>○対象者 身体手帳1・2級、療育手帳○A・A、精神保健福祉手帳1級</p> <p>○助成額 18,000円(助成上限額)</p>
事業の効果	障害者の交通費助成を拡大し、移動手段を選択できる状況を創出することで、障害者の社会参加を促進する。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 17 子どもの未来支援に要する経費
事業名	子どもの学習支援事業
担当課	福祉部 こども未来室
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	56-1 こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進 [つくばこどもの青い羽根学習会]

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	31,228	14,976	0	0	1,276	14,976	28,878	2,350
負担金	31,228	子どもの学習支援事業負担金					28,878	2,350
歳出内訳								

事業の目的	家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して勉強し生活できる環境づくりを推進し、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることで、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行う。
事業の概要	<p>学習支援団体との協働による「つくばこどもの青い羽根学習会」の実施</p> <p>(1) 学習支援 学校の勉強の復習、宿題の習慣づけ、学び直し、受験のための進学支援等を利用者個人々の状況に応じて指導するとともに、ひとりで学習できる力を身につけられるようにすること。</p> <p>(2) 居場所の提供 利用者が安心して通える場所として、日常生活習慣や社会性を育むための支援を行い、将来への関心や自己肯定感を持つといった生きる力をつけられるようにすること。また、食事や軽食等の提供を行うこと。</p> <p>(3) 相談支援 将来の進路相談等、利用者の学習に係る相談について親身に対応し、日常生活や学校生活上の悩みに係る相談等については、必要に応じて関係機関等と連携し対応すること。</p> <p>(4) 効果測定 利用者個人々人について、利用開始前に目標を立て、事業年度終了時にその振り返りを行うこと。利用者及びその保護者へ利用開始時及び利用終了時にアンケートも実施し、事業の効果を知る。</p> <p>「つくばこどもの青い羽根学習会」学習支援拠点 全16か所 内訳：週2日無制限型 3,564,000円×3か所、週2日20人型 2,616,000円×5か所 週1日20人型 1,605,000円×3か所、学校拠点型 273,000円×5か所 週2日食事提供 264,000円×2か所、週1日食事提供 132,000円×1か所 週2日軽食提供 88,000円×6か所、週1日軽食提供 44,000円×2か所</p>
事業の効果	生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して、学習支援や安心できる居場所の提供等を行うことができる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 02 児童福祉費 01 児童福祉総務費 17 子どもの未来支援に要する経費
事業名	居場所づくり支援事業
担当課	福祉部 こども未来室
事業期間	令和2年度 ～
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	16,025	2,041	0	0	11,943	2,041	9,379	6,646
委託料	16,025	居場所づくり支援事業委託料					9,379	6,646
歳出内訳								

事業の目的	家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して勉強し生活できる環境づくりを推進し、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることで、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行う。
事業の概要	<p>業務委託による「つくばこどもの青い羽根居場所づくり事業」の実施</p> <p>(1) 基本的な生活習慣の習得支援や生活指導、学習の習慣付け、社会性を育むための取組等を行う事業</p> <p>(2) 保護者支援、世帯支援を行う事業（生活困窮者の自立相談支援窓口への接続、生活習慣・育成環境の改善に関する助言、子どもの教育・就労（進路選択等）に関する相談など）</p> <p>(3) その他、子どもの生活習慣の改善や孤立の防止のために必要な事業（食事の提供、送迎を含む）</p> <p>「つくばこどもの青い羽根居場所づくり事業」支援拠点1か所 原則週3日以上、1日あたり4時間以上、利用登録者20名（上限）</p>
事業の効果	複合的に困難を抱える子どもに対し、他者との交流や、個々に応じた生活習慣の乱れや社会性の不足の改善、孤立の防止をすることにより自己肯定感を高め、将来への希望を持てるよう寄り添った支援をしていき、貧困の連鎖を防止する。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 01 保健衛生総務費 15 新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費
事業名	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	令和3年度(補正予算で対応) ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	6,848	6,848	0	0	0	0	0	6,848
歳出内訳	6,848	自宅療養者支援物資					0	6,848

事業の目的	新型コロナウイルス感染者で、自宅療養をされている方等に生活物資を支援することで市民の命と生活を守る。
事業の概要	<p>新型コロナウイルスに感染した自宅療養者とその家族に対し食料品や日用品等の生活物資(約5日分)を自宅まで配送する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受付方法: いばらき電子申請フォーム又は電話</li> <li>物資内容: 【陽性者本人】 水、レトルトご飯、ゼリー、カップ麺等食料品、消毒用アルコール等 【濃厚接触者】 水、レトルトご飯、カップ麺等食料品 【希望者のみ】 子供用おむつ、おしりふき、粉ミルク、離乳食、生理用品</li> <li>前日午後~当日午前中までに受け付けた申込み分について、午後から配送を行う。</li> </ul>
事業の効果	行動が制限されている感染者が困窮することのないよう、生活物資を支援するとともに、人流を抑制し、市民の感染リスクを低減させることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 01 保健衛生総務費 15 新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費
事業名	つくば市独自PCR検査事業
担当課	保健部 健康増進課
事業期間	令和3年度(補正予算で対応) ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	25,920	16,560	0	0	9,360	0	25,920	
委託料	25,920	PCR検査委託料					0	25,920
歳 出 内 訳								

事業の目的	新型コロナウイルスの感染拡大及び重症化を防止する。
事業の概要	<p>小学生以上の市内在住・在勤・在学の方、かつ無症状の方に市独自のPCR検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日時 毎週月曜～金曜(祝日除く) 9:00～11:00</li> <li>・検査人数 60人/日(上限)</li> <li>・検査料 市内在住者: 1人1,000円 市外在住で市内在勤、在学者: 1人2,000円</li> <li>・検査委託料(検査機関:i-laboratory) 1人3,000円</li> </ul>
事業の効果	感染者の早期発見及び陰性者の確認を行うことで、市民の感染リスクを低減させることができる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 02 老人福祉費 27 高齢者等買物支援事業に要する経費
事業名	高齢者等買物支援事業
担当課	福祉部 地域包括支援課
事業期間	令和2年度 ~ 令和6年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	48 移動スーパー等による買い物をしやすい環境の充実

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	4,000	0	0	0	0	4,000	4,000	0
補助金	4,000	高齢者等買物支援事業補助金					4,000	0
歳出内訳								

事業の目的	買い物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援するため、つくば市内で移動販売事業を実施する事業者に対し、移動販売に要する経費の一部を補助する。
事業の概要	<p>○高齢者等買物困難者支援事業の概要                      現在、大穂店・万博記念公園駅前店併せて市内97か所において移動スーパーによる買物支援事業を実施している。                      市内の集会所等を回り生鮮精肉及び青果品を扱い、月曜から土曜までの週6日間、1日あたり10か所前後の場所で販売している。                      併せて、買物をする高齢者等の見守りも行っている。</p> <p>○予算                      補助金の内容                      販売者1台あたりの人件費                      2,000,000円×2台=4,000,000円</p>
事業の効果	買い物が困難な状況に置かれた高齢者等を支援することにより、高齢者等が近隣の移動スーパー販売場所へ外出するきっかけとなり、介護予防と地域のつながりづくりが促進される。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 07 環境衛生費 14 動物愛護に要する経費
事業名	犬猫のマイクロチップ装着補助事業
担当課	生活環境部 環境保全課
事業期間	令和4年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	60 殺処分のための茨城県動物指導センターへの犬猫引渡頭数をゼロへ

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000
補助金	1,000	犬猫のマイクロチップ装着補助金					0	1,000
歳出内訳								

事業の目的	市内の飼い犬猫へのマイクロチップ装着の普及を促進すること。
事業の概要	<p>茨城県動物指導センターへの犬猫引渡頭数ゼロを目指すため、動物の安全で確実な個体識別(身元証明)の方法として、世界中で広く使用されているマイクロチップ装着を普及促進していく。その普及促進事業の一環として、市内の飼い犬猫へのマイクロチップの装着費用に対する補助を実施する。</p> <p>○予算                  犬又は猫1頭につき2,000円の補助 × 500頭 = 1,000千円</p>
事業の効果	災害や事故等で迷子になった犬猫の飼い主を早期に特定することで、茨城県動物指導センターへの引渡頭数を減少させることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	09 消防費 01 消防費 02 非常備消防費 12 地域防災推進に要する経費
事業名	新設教育施設等への防災設備設置事業
担当課	市長公室 危機管理課
事業期間	令和3年度～令和5年度
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-3 地域や市民一人ひとりの防災・防犯への備えを後押しする
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	138,289	0	0	138,100	0	189	39,680	98,609	
歳出内訳	監理委託料	177	(仮称)みどりの学校プール防災設備整備工事監理委託					0	177
	監理委託料	260	(仮称)みどりの南小学校・中学校防災設備整備工事監理委託					0	260
	建築工事	28,235	(仮称)みどりの学校プール災害用井戸					0	28,235
	建築工事	23,340	(仮称)みどりの南小学校・中学校非常用電源					0	23,340
	建築工事	39,251	(仮称)研究学園小学校・中学校災害用井戸、非常用電源					18,321	20,930
	建築工事	47,026	(仮称)香取台地区小学校災害用井戸、非常用電源					21,359	25,667

事業の目的	非常用電源や水源の確保を行い、災害時における市民生活を維持できるようにする。
事業の概要	<p>(仮称)みどりの学校プール災害用井戸整備について</p> <p>1. 防災用井戸 災害時(断水時)の市民利用を想定し、発電機より電源が供給される井戸設備の設置</p> <p>(仮称)みどりの南小学校・中学校防災設備整備について</p> <p>1. 自家発電機(自家発電機容量:130kVA) 職員室、保健室、体育館等の最低限の照明、コンセント、空調(体育館除く)に要する電力として、災害時等の児童引渡しや避難所利用を想定し発電機を整備</p> <p>(仮称)研究学園小学校・中学校防災設備について</p> <p>1. 防災用井戸 災害時(断水時)の市民利用を想定し、発電機より電源が供給される井戸設備の設置、周辺地域への開放を想定した井水利用の屋外トイレを整備</p> <p>2. 自家発電機(自家発電機容量:180kVA) 職員室、保健室、体育館等の最低限の照明、コンセント、空調(体育館除く)に要する電力として、災害時等の児童引渡しや避難所利用を想定し発電機を整備</p> <p>(仮称)香取台地区小学校等防災設備について</p> <p>1. 児童クラブ・コミュニティ施設における防災設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用井戸 災害時(断水時)の市民利用を想定し、発電機より電源が供給される井戸設備の設置</li> <li>・自家発電機(自家発電機容量:25kVA) 照明、コンセント、空調機等に要する電力として、災害時の避難所利用を想定し発電機を整備</li> </ul> <p>2. 小学校における防災設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家発電機(自家発電機容量:50kVA) 職員室、保健室、体育館等の最低限の照明、コンセント、空調(体育館除く)に要する電力として、災害時等の児童引渡しや避難所利用を想定し発電機を整備</li> </ul>
事業の効果	災害時において市民生活を維持できるようになる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 12 圏央道推進費 11 圏央道推進に要する経費
事業名	スマートIC整備事業
担当課	建設部 道路整備課
事業期間	平成29年度 ~
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	569,458	69,500	0	162,700	0	337,258	98,410	471,048
歳出内訳	公有財産購入費	127,610	土地購入費				98,410	29,200
	負担金補助及び交付金	441,848	建設事業NEXCO負担金、事業用地NEXCO負担金				0	441,848
								0
								0
								0

事業の目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図るため、圏央道の常総IC~つくば中央IC間にスマートICを設置する。
事業の概要	<p>○設置場所 つくば市島名 首都圏中央連絡自動車道つくば中央IC~常総IC間</p> <p>○接続する一般道 外回り：県道123号土浦坂東線 内回り：県道45号つくば真岡線</p> <p>○令和4年度事業内容 (仮称)つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、NEXCO(ネクスコ東日本)と基本協定を締結し、路線測量、土工詳細設計、用地測量、土地評価算定業務等を実施してきた。 令和4年度も用地買収を進め、工事に着手し、早期の供用開始に向けて事業を推進する。</p> <p>・土地購入費：A=3,267㎡ 127,610千円 ・負担金：建設事業NEXCO負担金 108,125千円 事業用地NEXCO負担金 333,723千円 合計 569,458千円</p>
事業の効果	圏央道の常総IC~つくば中央IC間にスマートICを設置することにより、つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 12 防犯対策費 11 防犯対策に要する経費
事業名	防犯カメラ設置補助事業
担当課	建設部 防犯交通安全課
事業期間	令和3年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	69 区会等の防犯カメラ設置補助を新設

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	1,200	0	0	0	0	1,200	600	600
補助金	1,200	防犯カメラ設置補助金					600	600
歳出内訳								

事業の目的	安全・安心なまちづくりを推進するため、自主防犯活動の補完として新たに防犯カメラを設置する地域団体に対し、その設置費用の一部を補助する。
事業の概要	<p>○補助対象団体 国、他の地方公共団体等から助成を受けない地域団体 ※ 地域団体とは、市内の区会、自治会等の住民自治組織、商店会、消防団、自主防犯活動団体、その他の一定の区域の住民により構成される団体</p> <p>○補助の対象となる費用 ・防犯カメラの購入費及び設置工事費 ・防犯カメラの設置を表示する表示板等の購入費及び設置工事費</p> <p>○補助金額等 ・防犯カメラ設置補助金：1,200千円（200,000円×6台） ・補助対象費用の合計額に2分の1を乗じて得た額（1,000円未満の端数切り捨て） ・限度額は、1台につき20万円とする。 ・1地域団体につき、防犯カメラ3台を限度とする。</p>
事業の効果	防犯カメラを設置することにより、犯罪の抑止効果と地域住民の安心感の向上が期待できる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費 18 リサイクルに要する経費
事業名	生ごみ処理容器等購入補助事業
担当課	生活環境部 環境衛生課
事業期間	継続
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-4 地球に優しく「ごみ」のない低炭素で循環型のまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	5,010	0	0	0	0	5,010	1,505	3,505
補助金	5,010	生ごみ処理容器等購入補助金					1,505	3,505
歳出内訳								

事業の目的	家庭における生ごみの自家処理を促進するため。
事業の概要	<p>○補助対象者 市内に在住し、家庭で生ごみの減量化に取り組む者</p> <p>○補助対象機器 ・生ごみ処理容器(コンポスト等) 補助額 購入費の1/2(1世帯2基まで 限度額2万円)</p> <p>・電気式生ごみ処理機 補助額 購入費の1/2(1世帯1基まで 限度額2万円)</p> <p>○補助予定数 令和4年度 約450基 (令和3年度実績 152基)</p>
事業の効果	生ごみの自家処理を促進することにより、排出されるごみの減量に資する。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 07 環境衛生費 23 低炭素な街づくりの推進に要する経費
事業名	宅配ボックス設置促進補助事業
担当課	生活環境部 環境政策課
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	2,500	0	0	0	2,500	0	2,500	
負担金補助及び交付金	2,500	宅配ボックス設置促進補助金					0	2,500
歳 出 内 訳								

事業の目的	<p>宅配便の再配達を抑制し、市域における運輸部門の温室効果ガスを削減するため。 また、宅配事業者の人手不足問題や非接触型の生活様式の推進をはじめとした社会課題解決のため。</p>
事業の概要	<p>○宅配ボックスを設置していない既設の集合住宅の所有者に対して、設置に係る費用を補助し、設置を促進する。</p> <p>○補助金額 宅配ボックス設置費用の1/2を補助する。 50千円(上限額)/件×50件=2,500千円</p>
事業の効果	再配達の抑制により、貨物車両の走行に伴う温室効果ガス排出量を削減することができる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 02 清掃費 02 塵芥処理費 14 可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費
事業名	サステナスクエア焼却炉耐火壁修繕事業
担当課	生活環境部 サステナスクエア管理課
事業期間	令和3年度 ~ 令和5年度
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	678,760	0	0	610,800	0	67,960	0	678,760	
歳出内訳	監理委託料	10,502	焼却炉耐火壁修繕工事監理委託料					0	10,502
	修繕工事	668,258	焼却炉耐火壁修繕工事					0	668,258

事業の目的	劣化した焼却炉内部を修繕することにより、可燃ごみ焼却施設の安定的な稼働を図る。																																				
事業の概要	<p>○可燃ごみ焼却施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却炉の型式 全連続式ストーカ炉</li> <li>・焼却炉の基数 3基</li> <li>・処理能力 375トン/日 (125トン/日×3基)</li> <li>・余熱利用 発電 (3,400kW)、つくばウェルネスパークへ蒸気を供給</li> </ul> <p>○施工内容 高温環境により劣化した焼却炉内部の耐火壁の修繕 (令和4年度に2基、令和5年度に1基を施工予定)</p> <p>○予算 (3月補正で継続費変更後)</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事</th> <th rowspan="2">監理</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>668,258</td> <td>10,502</td> <td>678,760</td> <td>0</td> <td>610,800</td> <td>0</td> <td>67,960</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>334,128</td> <td>5,250</td> <td>339,378</td> <td>0</td> <td>305,400</td> <td>0</td> <td>33,978</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,002,386</td> <td>15,752</td> <td>1,018,138</td> <td>0</td> <td>916,200</td> <td>0</td> <td>101,938</td> </tr> </tbody> </table>		工事	監理	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	668,258	10,502	678,760	0	610,800	0	67,960	R5年度	334,128	5,250	339,378	0	305,400	0	33,978	合計	1,002,386	15,752	1,018,138	0	916,200	0	101,938
	工事					監理	合計	財源内訳																													
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																
R4年度	668,258	10,502	678,760	0	610,800	0	67,960																														
R5年度	334,128	5,250	339,378	0	305,400	0	33,978																														
合計	1,002,386	15,752	1,018,138	0	916,200	0	101,938																														
事業の効果	排出される可燃ごみを安定的に処理し、衛生環境の保全を図るとともに、発電した電力を売却することにより、市の歳入増を図ることができる。																																				

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	06 農林水産業費 01 農業費 09 水田農業構造改革対策事業費 12 環境にやさしい農業推進に要する経費
事業名	葉刈り芝収集堆肥化推進事業
担当課	経済部 農業政策課
事業期間	平成30年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	78 芝野焼き対策のためのストックヤード増設

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	5,454	0	0	0	0	5,454	3,607	1,847	
歳 出 内 訳	回収費	2,310	20円×3,000kg×7ヶ月×5ヶ所×1.1					1,584	726
	運搬費	1,540	10,000円×7ヶ月×4回×5ヶ所×1.1					1,056	484
	コンテナ管理費	1,405	1,200円×213日×5ヶ所×1.1					966	439
	コンテナ置場除草費用	198	1,500㎡×120円×1.1					0	198

事業の目的	葉刈り芝の野焼きを抑止するとともに、生活環境に配慮した農業を推進するため。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定のストックヤードに葉刈り芝集積用コンテナを設置し、堆肥の原料として回収する。</li> <li>令和3年度は市内4カ所にコンテナ(酒丸地区、今鹿島地区、前野地区、吉沼地区)を設置した。</li> <li>令和4年度は1カ所増設を予定している。(最終目標数は市内10カ所)</li> </ul> <p>○令和3年度回収実績  今鹿島地区13,790kg 酒丸地区 22,370kg 前野地区7,660kg  吉沼地区(10月～11月 2か月間) 790kg 合計 44,610kg  ※令和3年度新規設置の吉沼地区の稼働期間は、2か月間。</p>
事業の効果	当該事業の実施により、野焼きの抑止とCO2などの温室効果ガス発生を抑制することが期待できる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費	02 道路橋梁費	01 道路橋梁維持費	12 橋梁に要する経費
			02 道路新設改良費	11 道路新設改良に要する経費
			03 緊急地方道整備事業費	11 緊急地方道整備に要する経費
		03 河川費	01 河川総務費	12 都市計画道路整備に要する経費
		04 都市計画費	02 街路事業費	11 河川整備に要する経費
				11 街路整備に要する経費
事業名	道路・街路・橋梁・河川等整備事業			
担当課	建設部 道路整備課、建設部 都市計画道路整備推進室			
事業期間	継続			
未来構想	-			
戦略プラン	-			
ロードマップ	-			

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,757,830	489,000	0	946,300	0	322,530	1,564,502	193,328	
歳出内訳	旅費	51	普通旅費					51	0
	需用費	1,280	消耗品費、修繕料 (パフォーマンスチャージ)					1,374	△ 94
	役務費	43	通信運搬費 (郵便料)					50	△ 7
	委託料	262,506	測量・設計委託料、監理委託料等					341,553	△ 79,047
	使用料及び賃借料	1,763	土地賃借料、設計積算システム機器賃借料等					1,271	492
	工事請負費	1,052,342	土木工事					950,943	101,399
	公有財産購入費	117,113	土地購入費					120,519	△ 3,406
	負担金補助及び交付金	67	技術講習会受講料					0	67
	補償・補填及び賠償金	322,665	補償金					148,741	173,924

事業の目的	市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図るため、道路、街路、橋梁及び河川の整備等を行う。	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○橋梁整備事業 195,481千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁長寿命化修繕工事 (房内橋、榎橋、上広岡橋、中神橋) 179,267千円</li> </ul> </li> <li>○道路新設改良事業 601,389千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道新設改良工事測量設計委託料 (13路線 L=2,008m) 98,697千円</li> <li>・市道新設改良工事 (25路線 L=2,465m) 332,650千円</li> </ul> </li> <li>○都市計画道路整備事業 465,726千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量設計委託料 (上河原崎東西環状線 L=410m) 29,800千円</li> <li>・酒丸上沢線道路改良工事 L=400m 95,125千円</li> <li>・土地購入費、補償金 (酒丸上沢線、台町萱丸線、小白碓谷田部線) 318,900千円</li> </ul> </li> <li>○緊急地方道整備事業 54,034千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道1-71号線道路改良工事 (L=200m) 50,000千円</li> </ul> </li> <li>○河川整備事業 35,775千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡川改修工事 (L=120m) 35,000千円</li> </ul> </li> <li>○街路整備事業 405,425千円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路通行帯整備工事 (5路線 L=961m 春日、花畑) 134,540千円</li> <li>・歩行者通行帯整備工事 (5路線 L=1,244m 天久保、二の宮) 174,160千円</li> <li>・街路改良・舗装工事 (1路線 L=317m 吾妻) 51,600千円</li> </ul> </li> </ul>	
事業の効果	道路、街路、橋梁及び河川の整備等を行うことで、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図ることができる。	

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 02 道路橋梁費 01 道路橋梁維持費 11 道路維持管理に要する経費
事業名	道路維持管理事業
担当課	建設部 道路管理課
事業期間	継続
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	983,995	23,545	0	230,900	116,609	612,941	980,906	3,089
歳 出 内 訳	委託料	247,148	通学路等除草委託料				244,486	2,662
	工事請負費	736,847	改良・舗装工事、維持補修工事、排水ポンプ交換工事ほか				736,420	427

事業の目的	安全・安心な市民生活を維持するため、市が管理する道路や水路等の維持管理・修繕・補修工事や、通学路等の除草作業を実施する。
事業の概要	<p>市が管理する道路、水路等の修繕・補修工事や除草作業を迅速に行う。また、地域の要望を踏まえ、舗装修繕工事や排水改修工事、除草作業を実施する。</p> <p>○委託料 通学路等除草委託料 247,148千円</p> <p>○工事請負費 土木工事 ・雨水排水ポンプ更新(森の里地区C-2) 39,149千円 ・改良・舗装工事(山口地区外10ヶ所 L=1,870m) 200,607千円 ・路面再生工事(桜地区 L=540m) 47,091千円 修繕工事 ・道路維持補修工事(市内) 450,000千円</p>
事業の効果	道路改良工事を円滑に実施し、舗装や側溝、交通安全施設の修繕及び通学路等の除草を行うことで、市民の安全・安心な通行を確保することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	つくバス運行事業
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	継続
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	411,846	0	0	0	0	411,846	372,552	39,294
負担金	411,846	つくバス運行負担金					372,552	39,294
歳出内訳								

事業の目的	「つくば市地域公共交通計画」に基づき、路線バスを補完するつくバスの運行を行う。市内交通網の整備充実により、効率的な鉄道二次交通手段並びに高齢者等交通弱者の移動手段の確保及び環境負荷の軽減等の効果が見込める。
事業の概要	<p>○コミュニティバス「つくバス」は、市内のつくばエクスプレス各駅と周辺の既成市街地を結び、民間路線バスを補完する幹線としての役割を「つくば市地域公共交通計画」に位置付けている。また、種々の交通政策を展開することで、移動利便性の向上を図り、持続可能な公共交通網の構築を図る。</p> <p>○令和4年度からの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上郷シャトルの増便（夜3便、朝1便）</li> <li>・荃崎地区で実証実験を行っていた路線を、つくバス路線として新たに運行</li> <li>・他のシャトルについても通学時間帯を考慮した運行ダイヤの構築</li> </ul>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性向上策による、利用者の増加が見込まれる。</li> <li>・実証実験の成果を反映し、地域の実情に応じた路線の構築が図られる。</li> </ul>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	筑波地区での支線型バス運行事業
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	48,932	0	0	0	0	48,932	0	48,932	
歳 出 内 訳	委託料	30,274	筑波地区支線型バス運行委託料					0	30,274
	公用自動車購入費	18,658	筑波地区支線型バス車両購入					0	18,658

事業の目的	高齢化率の高い筑波地区に支線型バス <sup>※</sup> を運行することにより、交通弱者の移動手段の確保をする。
事業の概要	<p>○令和元年度から3年度までの実証実験の効果を検証し、4コースあるバスルートのうち、第3コースに当たるルートについて、一部コース変更やバス停留所を増設し、筑波山（ふれあいの里入口）から既成市街地である北条（筑波中央病院）を結ぶコースの運行を開始する。</p> <p>○支線型バス運行準備等  (1) 運行ダイヤ・ルートの確定  (2) 支線型バス運行事業者選定  (3) 支線型バス車両購入  (4) つくば市公共交通活性化協議会での審議及び国土交通省への運行認可申請など</p> <p>○令和4年10月の運行開始を予定している。</p> <p>※支線型バスは、「つくば市地域公共交通計画」において、主に地域内を運行し、路線バス等の幹線に接続する支線として位置付けている。当該路線は、つくバスや関東鉄道等の民間路線バスに接続する。</p>
事業の効果	地区内の細かなエリアにも、定時定路線の運行を行うことで、つくタク以外でも移動の利便性向上が図られる。



令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 15 公共交通対策に要する経費
事業名	路線バス実証実験事業
担当課	都市計画部 総合交通政策課
事業期間	令和4年度 ~
未来構想	II 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	II-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	7,561	0	0	0	0	7,561	0	7,561
負担金	7,561	路線バス運行実証実験事業負担金					0	7,561
歳出内訳								

事業の目的	<p>市域の進展に伴う公共交通網の構築を図るため、民間路線バスを活用した実証実験により、ニーズ等の把握を行う。</p>
事業の概要	<p>市内の開発の進展に伴う公共交通へのニーズに対応するため、路線バスを活用した公共交通網の構築に向けた実証実験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○石下～土浦線路線変更負担金 1,049千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・西平塚地区のバス停を学園の森地区に移設</li> <li>・4月1日運行開始</li> </ul> </li> <li>○松代地区路線延長負担金 6,512千円                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・松代循環バスの経由地を松代4丁目から5丁目に延伸</li> <li>・10月運行開始予定</li> </ul> </li> </ul>
事業の効果	<p>つくバスの運行ではなく、すでに運行している路線バスのコースを一部変更するなど、民間活力により最小限の負担で検証を行い、利用ニーズを的確に把握することができる。</p>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	02 総務費 01 総務管理費 08 企画費 16 科学技術振興に要する経費
事業名	つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業
担当課	政策イノベーション部 科学技術振興課
事業期間	平成29年度 ～
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-1 知識集約によってイノベーションを創出する
ロードマップ	116 研究機関や企業等が持つ技術の社会実装のため、必要となる調整ごとを市役所が徹底支援

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	7,000	3,500	0	0	0	3,500	7,000	0
歳出内訳	負担金①	5,000	Society 5.0社会実証支援負担金				5,000	0
	負担金②	2,000	市場・市民向けニーズ調査負担金				2,000	0

事業の目的	<p>実証実験の核となる革新的な技術やアイデアの実用化を支援することで、未来社会を先導する取組を呼び込み、地域課題の解決や市民生活の向上、地域経済の活性化を目指すため。また、実証実験の支援により実用化された製品等を社会生活やあらゆる産業に取り入れ、社会課題の解決と経済発展を両立していく新たな社会「Society 5.0」の実現を図るため。</p>
事業の概要	<p>○つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業 Society 5.0の実現及び市域課題を解決する革新的な技術を活用した製品、サービス等の社会実装に向けたトライアル(実証実験)を支援し、新たなイノベーションの創出に取り組む。 ・採択件数: 5件(予定) ※外部有識者の審査により決定 ・支援内容: トライアル費用支援100万円/件、市民モニターや実証場所のあっせん、専門家からの助言機会の提供、トライアル終了後の継続フォロー等</p> <p>○市場・市民向けニーズ調査事業 課題解決の可能性を検証した未来技術※における社会実装の支援として、地域課題でお困りの市民や市内事業者に技術等を試行してもらい、市場性や改善点等の調査を実施する。 ※つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援事業やつくば未来共創プロジェクト事業で採択された等、市を実証フィールドかつ市の支援を得たもの</p>
事業の効果	<p>研究成果や技術シーズ等を社会実装に繋げる支援や市場性評価の支援を通じて、社会課題の解決や新たなイノベーションの創出や「つくば市未来構想」に掲げる「市民のために科学技術をいかすまち」の実現が期待できる。</p>

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 06 保健体育費 02 体育施設費 12 (仮称) みどりの学校プール建設に要する経費
事業名	(仮称) みどりの学校プール建設事業
担当課	市民部 スポーツ施設整備室
事業期間	令和4年度 ~ 令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち、III 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる、III-2 個性を伸ばし未来を切り拓く力を育む
ロードマップ	100 複数校で共同利用する温水プールを市民も利用できるよう整備

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	1,118,618	69,692	0	735,700	0	313,226	67,010	1,051,608	
歳出内訳	旅費	30	工場検查出張費					0	30
	委託料	9,215	プール建設工事監理委託料、進入路舗装工事監理委託料 進入路改良工事積算委託料、建設用地刈草業務委託料					0	9,215
	委託料	0	プール建設工事設計委託料 進入路整備工事測量設計委託料					67,010	△ 67,010
	工事請負費	1,109,373	プール建設工事、進入路舗装工事					0	1,109,373

事業の目的	TX沿線を主とした一部の学校プールを集約し、学校授業以外の時間帯は一般開放を行うことで、市民の健康づくりの場となる、通年利用可能な屋内温水プールを建設することを目的とする。																																										
事業の概要	<p>○ (仮称) みどりの学校プールの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地面積 約25,000㎡</li> <li>建物規模 約3,000㎡ (RC造一部S造、SRC造)                      プール室 (1,600㎡) ※25mプール2槽、うち一槽は可動床                      トレーニング室 (120㎡)                      コミュニティスペース (90㎡) 等を配置</li> <li>スケジュール 建設工事 令和4年度~令和5年度                      供用開始 令和6年度</li> </ul> <p>・プール建設工事に係る継続費設定 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">工事請負費</th> <th rowspan="2">監理委託料</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,086,286</td> <td>6,797</td> <td>1,093,083</td> <td>69,692</td> <td>735,700</td> <td>0</td> <td>287,691</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>1,629,429</td> <td>15,858</td> <td>1,645,287</td> <td>104,538</td> <td>1,107,700</td> <td>104,343</td> <td>328,706</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,715,715</td> <td>22,655</td> <td>2,738,370</td> <td>174,230</td> <td>1,843,400</td> <td>104,343</td> <td>616,397</td> </tr> </tbody> </table>								工事請負費	監理委託料	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	令和4年度	1,086,286	6,797	1,093,083	69,692	735,700	0	287,691	令和5年度	1,629,429	15,858	1,645,287	104,538	1,107,700	104,343	328,706	合計	2,715,715	22,655	2,738,370	174,230	1,843,400	104,343	616,397
	工事請負費	監理委託料	合計	財源内訳																																							
				国庫補助	地方債	その他	一般財源																																				
令和4年度	1,086,286	6,797	1,093,083	69,692	735,700	0	287,691																																				
令和5年度	1,629,429	15,858	1,645,287	104,538	1,107,700	104,343	328,706																																				
合計	2,715,715	22,655	2,738,370	174,230	1,843,400	104,343	616,397																																				
事業の効果	屋内プールを整備することで、天候などに左右されず授業のカリキュラムが計画通り進むことや、学校授業で使用しない時間帯については、一般開放することで施設の有効活用を図り、市民の健康づくりの場としても提供できるよう事業展開を行い、市民サービスの向上にも寄与する。																																										

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 17 ジオパーク中核拠点施設整備事業に要する経費
事業名	ジオパーク中核拠点施設整備事業 (旧筑波東中学校)
担当課	経済部 ジオパーク室
事業期間	令和元年度 ~ 令和5年度
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-6 身近な自然を守り、楽しみ、持続させる
ロードマップ	88-1 筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	150,769	75,384	0	67,800	0	7,585	22,249	128,520	
歳 出 内 訳	監理委託料	1,090	ジオパーク中核拠点施設整備工事監理委託料					0	1,090
	設計委託料	0	建物改修設計委託料、展示設計委託料					22,249	△ 22,249
	工事請負費	149,679	ジオパーク中核拠点施設整備工事					0	149,679

事業の目的	旧筑波東中学校の一部教室を利活用し、筑波山地域ジオパークのネットワークや情報発信、地域連携、教育普及等の中心となるような中核拠点施設を整備する。
事業の概要	<p>○ジオパーク中核拠点施設の概要</p> <p>【教室棟1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室</li> <li>・エントランス・休憩コーナー</li> </ul> <p>※展示室に配置する展示物は令和4年度から令和5年度にかけて製作(96,800千円)</p> <p>【教室棟2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室</li> <li>・多目的室</li> </ul> <p>【敷地内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者駐車場(約300台、約7,000㎡) ※No.55と共用</li> </ul> <p>○整備スケジュール</p> <p>令和4年度 建物改修工事 令和4～5年度 展示物製作業務(債務負担行為) 令和5年度中 オープン予定</p>
事業の効果	中核拠点施設を整備することで、筑波山地域ジオパークの魅力を高めるとともに、今まで課題となっていた情報発信の強化、ガイドや地域の方々の交流、ジオパーク教育の普及、観光事業との連携などを加速することができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 20 自転車のまちづくり推進に要する経費
事業名	自転車拠点整備事業（旧筑波東中学校）
担当課	都市計画部 サイクルコミュニティ推進室
事業期間	令和3年度～
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	62-1 自転車の拠点整備やシェアサイクル導入と自転車通勤への転換支援〔自転車の拠点整備〕 88-2 筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ〔サイクリングの拠点〕

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	234,439	117,218	0	105,400	0	11,821	2,915	231,524	
歳出内訳	建築工事	134,342	自転車拠点整備工事					0	134,342
	土木工事	99,118	BMXコース整備工事					0	99,118
	監理委託料	979	自転車拠点整備工事監理委託料					0	979
	設計委託料	0	自転車拠点施設整備設計委託料					2,915	△ 2,915

事業の目的	つくば霞ヶ浦りんりんロードや筑波山「不動峠」に近接し、好立地である旧筑波東中学校に自転車拠点及びBMXコースを整備し、つくば市への誘客を促進することで、地域振興を実現する。
事業の概要	<p>○自転車拠点施設の概要</p> <p>1 教室棟1・2階の一部を活用し、ジオパーク中核拠点と併設する形で以下の機能を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル</li> <li>・休憩スペース</li> <li>・自転車整備、修理ブース</li> <li>・ロッカー、シャワー、更衣室</li> <li>・会議室</li> </ul> <p>2 グラウンドを活用し、BMXレーシング用のコースを整備する。 コース長：約380m、コース面積：約8,100㎡</p> <p>3 敷地内に利用者用駐車場（約300台、約7,000㎡）を整備する。※N0.54と共用</p> <p>○整備スケジュール 令和4年度 自転車拠点施設整備工事、BMXコース整備工事 令和5年度 オープン予定</p>
事業の効果	<p>自転車拠点を整備することで以下の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客による賑わいの創出</li> <li>・自転車拠点から筑波山周辺の観光資源への誘導による地域経済振興</li> <li>・つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線において不足する自転車整備、修理機能の提供によるサイクリストの利便性向上</li> <li>・筑波山周辺に車で訪れるサイクリストで不足している駐車場問題の解決</li> </ul>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 20 自転車のまちづくり推進に要する経費
事業名	サイクルコミュニティ活性化事業
担当課	都市計画部 サイクルコミュニティ推進室
事業期間	令和4年度
未来構想	Ⅱ 誰もが自分らしく生きるまち
戦略プラン	Ⅱ-5 多様な移動手段があるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	5,995	0	0	0	0	5,995	0	5,995
委託料	5,995	イベント運営業務委託料					0	5,995
歳出内訳								

事業の目的	自転車を通して様々な世代が楽しめるイベントを開催することで自転車のまちづくりを推進し、サイクルコミュニティの醸成を図るため。
事業の概要	<p>イベント概要(予定)</p> <p>○場所 平沢官衙遺跡歴史広場、つくば霞ヶ浦りんりんロード、不動峠(県道石岡つくば線の一部)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば霞ヶ浦りんりんロード、不動峠のサイクリング</li> <li>自転車でのタイム測定(タイムトライアル)</li> <li>ローカルマーケット(地産品・特産品の販売) など</li> </ul> <p>○委託業務の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エントリー業務(イベント参加者は事前にwebエントリー)</li> <li>タイム計測・記録集計関連業務</li> <li>会場設営、撤去に関する業務 ほか</li> </ul> <p>○協力体制</p> <p>自転車利用推進に係る協定を締結する弱虫ペダルサイクリングチームと連携し、魅力的なコンテンツ作りを行う。</p> <p>○開催時期 令和4年10月または11月</p>
事業の効果	自転車に触れるきっかけとなる魅力あるイベントを開催することで、自転車利用の促進を図り、サイクルコミュニティの醸成に資する。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工振興費 15 企業誘致推進に要する経費
事業名	企業立地促進補助金
担当課	経済部 産業振興課
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	7,200	0	0	0	0	7,200	0	7,200
負担金補助及び交付金	7,200	企業立地促進補助金					0	7,200
歳 出 内 訳								

事業の目的	市内に事業所の立地を促進することで、産業の活性化を促進し、産業の振興及び雇用の拡大を図る。								
事業の概要	<p>市内にオフィス等を新設・移設した事業者に対し、当該オフィスの賃借に必要な賃料の一部を最大24か月補助する。</p> <p>【補助対象者】市内にオフィス等を新設・移設した事業者</p> <p>【補助内容】賃借料の1/2を補助する。ただし、1年目は月額20万円、2年目は月額10万円を上限とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助率</th> <th>月額上限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年目</td> <td rowspan="2">1/2</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>2年目</td> <td>10万円</td> </tr> </tbody> </table>		補助率	月額上限	1年目	1/2	20万円	2年目	10万円
	補助率	月額上限							
1年目	1/2	20万円							
2年目		10万円							
事業の効果	新規企業の立地促進や既存企業の事業規模拡大及び市内定着化が図られる。								

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工振興費 13 産業創出支援に要する経費
事業名	創業支援事業
担当課	経済部 産業振興課
事業期間	令和4年度
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-2 地元で頑張る組織や人が成長し続けるまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B
	6,078	0	0	0	0	6,078	3,912	2,166
歳出内訳	講師謝礼	53	創業啓発セミナー講師謝礼				12	41
	運営委託料	500	創業支援イベント運営委託料				0	500
	講師派遣手数料	500	チャレンジショップ講師派遣手数料				0	500
	物品賃借料	300	チャレンジショップイベント用物品賃借料				0	300
	チラシ印刷費	200	チャレンジショップPRチラシ印刷費				0	200
	補助金	4,525	新規創業促進補助金				3,900	625

事業の目的	創業の成長ステージに合わせた支援に取り組むことで、新規創業件数の増加させる。
事業の概要	<p>○創業啓発イベント 創業に対し興味を持っている人が創業に踏みだせるよう、情報提供や創業啓発セミナー等のイベントを開催する。</p> <p>○チャレンジショップ 創業希望者へテストマーケティングの実施機会を提供する「短期チャレンジショップ」の場を設け、創業支援コンサルティングを実施する。</p> <p>○創業支援イベント つくば創業支援ネットワークと連携し、各機関で支援を受けて創業した事業者が、大型商業施設等で事業や自店舗のPRを目的としたイベントを開催する。</p> <p>○新規創業促進補助金 新規創業の促進による雇用拡大や市内経済の発展を図るため、新たに会社を設立するための経費を補助する。</p>
事業の効果	創業の意思決定から創業後まで一体的に支援することにより、創業希望者のチャレンジを後押しし、新規創業者の増加を図ることができる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費 11 商工業振興に要する経費
事業名	商店街空き店舗補助事業
担当課	経済部 産業振興課
事業期間	平成23年度 ～
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	85-1 周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ 108 空き店舗やチャレンジショップを活用した新規事業や創業の支援

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	4,807	0	0	0	0	4,807	2,644	2,163
歳 出 内 訳	補助金	4,807					2,644	2,163

事業の目的	既存商店街の空き店舗を活用し事業を行おうとする中小企業者に対して、改装費及び家賃の一部を補助することで、空き店舗の解消を図るとともに地域経済の振興を促進する。
事業の概要	<p>既存商店街等に所在する空き店舗を活用して事業活動を行おうとする中小企業者に対して、当該空き店舗の改装に必要な費用の一部及び賃借に必要な費用の一部を補助するもの。</p> <p>改装費補助：改装工事費の2分の1、150万円を上限に補助 家賃補助：賃借料の2分の1、月額5万円を上限として最大12か月補助</p>
事業の効果	既存商店街の賑わいの創出及び活性化を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費 19 新型コロナウイルス感染症経済対策に要する経費
事業名	新型コロナウイルス感染症対策経済支援事業
担当課	経済部 経済支援室
事業期間	令和4年度
未来構想	—
戦略プラン	—
ロードマップ	103 コロナの影響を受けている地元企業の相談体制を充実させ一元的にサポート 104 コロナの影響で就職先やアルバイトが減少している学生等と地元企業のマッチング

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 (補正後) B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	137,649	137,617	0	0	2	30	219,385	△ 81,736	
歳出内訳	継続事業	11,715	①経営支援ワンストップ窓口事業(報酬、委託料等)					9,390	2,325
	〃	80,000	②中小企業販路拡大補助金(補助金)					80,000	0
	〃	934	③タクシー事業者支援事業(印刷製本費、補助金)					2,495	△ 1,561
	〃	45,000	④雇用促進支援交付金(交付金)					34,000	11,000
	終了事業	0	緊急支援給付金(交付金)					1,500	△ 1,500
	〃	0	事業継続給付金及び交通支援給付金(交付金)					92,000	△ 92,000

事業の目的	新型コロナウイルス感染症が経済・雇用等に与える影響を緩和し、市内中小企業等の経営安定化を図る。
事業の概要	<p>①経営支援ワンストップ窓口事業【令和2年8月開始】 国や市の経営支援制度の案内・相談及び専門家によるコンサルティング 案内相談窓口=週5日、コンサルティング窓口=週4～5日</p> <p>②中小企業販路拡大補助金【令和2年8月開始】 非対面型への転換などの感染症対策を含む販路拡大に取り組む事業者への補助制度 補助額=最大50万円 補助率=市内企業への発注経費9/10、市外企業への発注経費最大3/4</p> <p>③タクシー事業者支援事業【令和2年8月開始】 市民から依頼された買物と自宅配送を行うタクシー事業者への補助制度 補助額=1配送当たり一律2,000円</p> <p>④雇用促進支援交付金【令和2年6月開始】 (一般型)失業した市民を新規雇用する事業者への交付金制度 交付額=無期雇用1人につき最大20万円 有期雇用1人につき最大10万円(ひとり親上乗せ1人最大15万円) (学生型)市内学生を3月以上雇用した事業者への交付金制度 交付額=週10時間以上1人につき最大10万円 週5時間以上1人につき最大5万円</p>
事業の効果	<p>①個々の市内事業者に適した経営支援と市内事業者のニーズの把握</p> <p>②市内事業者の販路拡大による経営力強化と市内発注効果による経済循環</p> <p>③収益悪化が著しいタクシー事業者の売上確保と買物不安を抱える市民の利便性向上</p> <p>④景気減速により新規雇用を躊躇する市内企業の雇用意欲の喚起と市民の雇用確保</p>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	06 農林水産業費 02 林業費 01 林業費 12 森林保全に要する経費
事業名	森林経営管理制度による森林整備事業
担当課	経済部 鳥獣対策・森林保全室
事業期間	令和3年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	4,170	0	0	0	4,170	0	2,714	1,456	
歳 出 内 訳	委託料	2,142	森林経営管理事業調査委託料					2,714	△ 572
	委託料	2,028	森林経営管理集積計画作成支援業務委託料					0	2,028

事業の目的	森林環境譲与税を活用して経営管理に関する意向調査を行い、一定の基準を満たしている人工林（スギ、ヒノキ、マツ等の針葉樹）について集積計画を策定することで森林の経営管理権を市に取得する。これにより、適切な経営管理が行われていない人工林の経営管理を林業経営者に集積・集約化し、林業の成長産業化と人工林の適切な管理の両立を図ることを目的とする。
事業の概要	<p>○森林経営管理事業調査委託料 人工林を所有する者又は管理する権限等を有する者に対し、当該森林の管理状況や今後の経営管理の意向等についてアンケート形式により調査を実施するための委託料 ・森林経営管理事業調査委託料 2,142,000円</p> <p>○経営管理集積計画作成支援業務委託料 意向調査の結果、一定の基準を満たした人工林の中で、森林の経営管理権を市に集積するための計画を策定する業務委託料 ・森林経営管理集積計画作成支援業務委託料 2,028,000円</p>
事業の効果	経営管理が行われていない人工林について、市が森林所有者の委託を受けて管理の実施や、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と人工林の適正管理の促進を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 24 周辺市街地振興に要する経費
事業名	周辺市街地活性化事業
担当課	都市計画部 周辺市街地振興課
事業期間	令和3年度～令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-3 つくばならではの街並みや体験を創出する
ロードマップ	82 周辺市街地8地区で取り組んできた地域振興のさらなる発展と他の周辺地域や団地への横展開 85-2 周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	20,613	10,306	0	0	0	10,307	13,321	7,292
歳出内訳	委託料	19,173	地域振興推進事業支援業務委託料				13,321	5,852
	使用料及び賃借料	1,440	チャレンジショップ用店舗賃借料				0	1,440

事業の目的	人口減少及び少子高齢化が進行する周辺市街地において、地域が主体となり、地域資源を活用しながら、持続可能な地域づくりを展開する。
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャレンジショップ等の展開による地域経済の活性化(一部市街地) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に吉沼市街地でチャレンジショップを開設し、入居者の創業支援を実施</li> <li>・令和5年度のチャレンジショップ開設に向け、改修工事を実施(3店舗)</li> </ul> </li> <li>○周辺市街地活性化協議会等の自走化支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市街地活性化協議会、R8コンペ採択者が一同に会する「つくばR8ネットワーク」を定期開催し、連携の促進と活動継続に向けた課題を共有し、解決を目指す。</li> </ul> </li> <li>○市内周辺地域への地域振興施策の横展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金制度を創設し、人口減少が進む周辺地域において、振興施策の実施を希望する地域への支援を行う。</li> </ul> </li> <li>○地域づくりへの多様な人材の参画促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりの担い手確保に向けた人材発掘イベントを実施する。</li> </ul> </li> </ul>
事業の効果	<p>周辺市街地の持続可能な地域づくりが行われるとともに、その生活圏にある地域の生活環境の向上につながる事が期待できる。</p> <p>周辺市街地で行ってきた取組をモデルに市内周辺部の他地域へ横展開することで、周辺地域のコミュニティの維持に資することが期待できる。</p>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 12 防犯対策費 12 空き家対策に要する経費
事業名	空き家対策事業
担当課	建設部 住宅政策課
事業期間	平成25年度 ～
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	87 新設した空き家活用補助金等による空き家問題への対策の推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	25,955	8,198	0	0	0	17,757	2,800	23,155	
歳出内訳	負担金補助及び交付金	1,500	空家改修補助金					1,500	0
	負担金補助及び交付金	300	空家家財処分補助金					300	0
	負担金補助及び交付金	1,000	空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金					1,000	0
	委託料	16,610	空家等実態調査業務委託料					0	16,610
	委託料	6,545	空家等対策計画策定支援業務委託料					0	6,545

事業の目的	「空家等対策の促進に関する特別措置法」、「つくば市空き家等適正管理条例」及び「つくば市空家等対策計画」に基づき行政指導等による空家等の適正な管理を推進し、市民の安全で安心な環境を守るとともに、空家等の活用を促進する施策による地域経済及びコミュニティの活性化を図る。
事業の概要	<p>○空家改修補助金 1,500千円 空家バンクの登録物件を利用登録者(市外在住者)が購入し、改修工事を行う場合に費用の一部を補助する。(補助率:補助対象経費の1/2)</p> <p>○空家家財処分補助金 300千円 空家バンクに登録した所有物件の売却時に家財処分を行う場合、空き家所有者へ費用の一部を補助する。 ※空家改修補助金と合わせての申請が必要(補助率:補助対象経費の1/2)</p> <p>○空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金 1,000千円 空家等を有効活用して地域交流拠点づくりを行う地域団体等に改修費用の一部を補助する。(補助率:補助対象経費の1/2)</p> <p>○空家等実態調査業務委託料 16,610千円 つくば市空家等対策計画(第2期)を策定する際の基礎資料とするため、空家等実態調査を行う。</p> <p>○空家等対策計画策定支援業務委託料 6,545千円 空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「つくば市空家等対策計画」が令和4年度に計画終期を迎えることから、空家等に関する施策を見直し、総合的かつ計画的な推進を図るため、令和5年度からの5年間を計画期間とする新たな計画を策定する。</p>
事業の効果	空家等の問題の解消により良好な生活環境の保全と地域の活性化が図られる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	03 民生費 01 社会福祉費 10 市民生活対策費 15 文化行政に要する経費
事業名	文化芸術創造拠点基本計画策定事業
担当課	市民部 文化芸術課
事業期間	令和4年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	122 廃校を活用した文化芸術の新たな活動拠点整備

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減 A-B	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B		
	13,181	0	0	0	0	13,181	0	13,181	
歳出内訳	委託料	11,308	基本計画策定業務委託料					0	11,308
	委託料	989	外壁調査委託料					0	989
	委託料	554	配管劣化診断委託料					0	554
	委託料	330	アドバイザー業務委託料					0	330

事業の目的	文化芸術施策を推進する施設として、候補地となる廃校の改修や運営に関する計画を、専門的知見を取り入れながら策定する。
事業の概要	<p>1 文化芸術創造拠点基本計画の策定</p> <p>(1) 事業概要 施設として使用する機能及び活用方法、施設の管理・運営に必要な事項、今後要する概算工事費及び維持管理費など、計画策定に必要な事項をコンサルタントを交えて整理し、計画を策定する。</p> <p>(2) 予算 ・基本計画策定業務委託料 … 11,308千円 ・外壁調査委託料 … 989千円 ・配管劣化診断委託料 … 554千円</p> <p>2 試行事業</p> <p>(1) 事業概要 文化芸術創造拠点で事業を推進していくにあたり、施設の運用方法や事業方針の検討を目的として、候補地を活用した試行事業を実施する。事業の実施に当たっては、他自治体で活動拠点施設の運営経験を持つディレクターを選定のうえ、アドバイザー業務を委託し、方針などについて相談しながら、事業を推進する。</p> <p>(2) 予算 ・アドバイザー委託料 … 330千円</p>
事業の効果	文化芸術創造拠点を令和5年度以降に整備・運営していくにあたり、必要な経費や手続きなどについて、コンサルタントを交えて基本計画として整理することで、今後の支出計画の見通しを立てるとともに、円滑な事業の推進が可能となる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 11 観光施設整備に要する経費
事業名	筑波ふれあいの里改修事業
担当課	経済部 観光推進課
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I - 2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	127-1 筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荃崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実(筑波ふれあいの里)

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	15,059	0	6,776	0	0	8,283	0	15,059
委託料	15,059	筑波ふれあいの里キャンプ場改修設計業務委託料					0	15,059
歳出内訳								

事業の目的	令和2年度に策定した筑波ふれあいの里アウトドアフィールド基本構想に基づき、魅力あるアウトドア体験施設としての整備を行う。
事業の概要	<p>筑波ふれあいの里を自然環境資源を最大限に活かした魅力あるアウトドア体験施設とするための改修設計を行う。</p> <p>令和3年度：測量(7,326千円) ※発注済み 令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筑波ふれあいの里キャンプ場改修設計業務(11,792千円)</li> <li>筑波ふれあいの里キャンプ場改築設計業務(3,267千円)</li> </ul> <p>令和5年度：土木工事及び建築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のテントサイトをオートキャンプサイト(キャンピングカー対応)化し、現代のニーズに応じた広さに拡張する。</li> <li>和式トイレを洋式化し、老朽化している管理棟、サニタリー棟、炊事場の改築工事を行う。</li> <li>狭い敷地内道路を拡張し、キャンピングカー等が通行できる広さとする。</li> </ul> <p>※県自然環境整備交付金(国定公園内)を活用予定</p>
事業の効果	<p>【現状】 昨今のキャンプブームの高まりもあり、テントなどのキャンプ道具も多様化していることから、既存のキャンプサイトではニーズにマッチしない。</p> <p>【今後】 利用者のニーズに対応した筑波山地域における利便性高いアウトドア拠点の創出を図り、筑波山地域の魅力度向上と地域経済の発展に寄与する。</p>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 14 観光振興に要する経費
事業名	観光情報電子化事業
担当課	経済部 観光推進課
事業期間	令和4年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	90-1 小貝川や地域の商店等の地域資源を活かした誘客推進 93-3 豊里ゆかりの森や川口公園、小貝川等のさらなる魅力向上

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	4,990	0	0	0	0	4,990	0	4,990	
歳出内訳	委託料	1,071	まちあるきイベント業務委託料					0	1,071
	委託料	344	まちあるきイベント広告物作成委託料					0	344
	委託料	2,802	まちあるき観光PR用写真・動画撮影委託料					0	2,802
	需用費	225	衛生用消耗品、イベント参加記念品、行事用消耗品					0	225
	役務費	43	イベント商品発送料金					0	43
	役務費	505	イベント広告掲載料					0	505

事業の目的	本市観光地の認知度向上による市内経済の活性化及び地域の賑わいの創出を目的に、市内各地域に存在する地域資源の発掘や観光資源の磨き上げを実施するとともに、これらの情報発信を強化する。
事業の概要	<p>○まちあるきイベントの開催 「まちあるき観光イベント(電子スタンプラリー等)」の開催を進める中で、地域と協働して地域資源の発掘や観光資源の磨き上げを行う。          ≪予算≫          ・まちあるきイベント業務委託料(電子スタンプラリーシステムの導入に係るもの)          ・まちあるきイベント広告物作成委託料(まちあるきイベント実施に係るポスター・チラシの作成、ラリー地点用等のぼり旗の作成、達成記念品のデザインを作成するもの)</p> <p>○まちあるき観光PR用素材(写真・動画)の制作 市ホームページやSNS等での観光情報の発信を強化するため、魅力ある観光素材(写真・動画)を制作する。          ≪予算≫          ・まちあるき観光PR用写真・動画撮影委託料(市内観光資源の魅力的な写真や動画を撮影するもの)</p> <p>※観光情報発信については、現行で運用しているSNSのほか、令和4年度に予定している市ホームページの改修に合わせ観光情報特設サイトを設置する予定である。この中では、各地域の観光資源やまちあるきモデルコースの紹介など、観光情報の発信を強化していく予定。</p>
事業の効果	本事業の実施を通じ、市内各所にある観光資源の情報発信力を強化することで、観光地としての認知度を向上させるとともに、新たに市内周遊観光ルートを設定し、持続可能な観光地域とした地域経済の発展に寄与する。 更には、地域と協働したまちあるきイベントの実施を通じ、地域のおもてなし意識の高まりとともに、参加者が地域の魅力を再発見することで、参加者からのSNSによる口コミでの情報発信が期待できる。



## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	07 商工費 01 商工費 03 観光費 11 観光施設整備に要する経費
事業名	観光施設整備事業
担当課	経済部 観光推進課
事業期間	令和4年度 ~ 令和5年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I - 2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	128 筑波山観光案内所の建て替えによる観光客の利便性向上

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	16,093	0	0	0	0	16,093	0	16,093	
歳出内訳	委託料	1,463	筑波山展望デッキ整備設計業務委託料					0	1,463
	委託料	550	宝篋山小田休憩所改修工事設計委託料					0	550
	工事請負費	3,993	筑波山駐車場満空車表示板設置工事					0	3,993
	工事請負費	4,510	筑波山観光情報用ライブカメラ設置工事					0	4,510
	工事請負費	5,577	宝篋山小田休憩所改修工事					0	5,577

事業の目的	多様な要望に応えられる観光地を目指し、筑波山や宝篋山の周辺施設の整備を行う。
事業の概要	<p>○筑波山展望デッキ整備設計業務委託料 (筑波山観光の拠点として、更なるにぎわい創出) 新たな筑波山観光案内所(公衆トイレ併設)の完成に伴い、老朽化が著しく進んでいる市営筑波山第2駐車場公衆トイレの運用を廃止し、新たな観光スポットとして整備を行う。 事業内容 令和4年度: 展望デッキ整備測量設計委託 令和5年度: 市営筑波山第2駐車場公衆トイレ解体及び展望デッキ整備</p> <p>○筑波山駐車場満空車表示板設置工事 市営駐車場及びつつじが丘駐車場の使用状況を周知するため、筑波山観光案内所の敷地内に満空車表示板を再設置する。 事業内容 令和4年度: 市営筑波山駐車場満空車表示板改修工事</p> <p>○筑波山観光情報用ライブカメラ設置工事 行楽シーズンにおける混雑状況を配信するため、筑波山の女体山頂にインターネットライブ配信用のカメラを整備する。 事業内容 令和4年度: ウェブカメラ追加設置工事</p> <p>○宝篋山小田休憩所改修工事 宝篋山小田休憩所のトイレを開館時間外に利用できるよう施設の一部を改修し、早朝から訪れる多くの登山客のニーズに対応する。 事業内容 令和4年度: 設計業務委託 550千円 改修工事 5,577千円 ※休憩スペースと室内トイレの間に壁を設置、トイレ側に新たにドアを設置</p>
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>展望デッキ整備 : 観光案内所前に夜景も含め景色が楽しめる、新たな観光スポットを整備することで、筑波山観光における旅行消費の拡大につながる。</li> <li>駐車場満空車表示板設置 : 行楽シーズンにおける交通渋滞の緩和が図れる。</li> <li>筑波山ライブカメラ設置 : 行楽シーズンに見られる山頂の混雑状況をライブカメラでリアルタイムに発信することで、観光スポットの管理及び混雑緩和につながる。</li> <li>宝篋山休憩所改修工事 : 施設の開館時間外においてもトイレの利用が可能となり、施設の利便性が向上し、登山客の満足度の向上が図れる。</li> </ul>

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 01 都市計画総務費 23 学園地区市街地振興に要する経費
事業名	つくばセンタービルリニューアル事業
担当課	都市計画部 学園地区市街地振興課
事業期間	平成30年度 ～ 令和6年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-3 つくばならではの街並みや体験を創出する
ロードマップ	117 老朽化が課題となっているセンタービル・センター広場のリニューアル

(単位:千円)

事業費	令和4年度	左の財源内訳					令和3年度	増減	
	A	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源	B	A-B	
	266,590	128,100	0	115,600	0	22,890	63,019	203,571	
歳出内訳	監理委託料	9,795	つくばセンタービル公共施設改修工事監理委託料					0	9,795
	維持改修工事	256,795	つくばセンタービル公共施設改修工事					0	256,795
	設計委託料	0	つくばセンタービル公共施設改修設計業務委託料					63,019	△ 63,019

事業の目的	研究学園都市のシンボルとして長年親しまれているつくばセンタービルを、老朽化した設備の更新や公共施設の再整備を行いながら新たな市民活動の場を創出し、駅前にふさわしい持続可能都市の拠点としてリニューアルする。
事業の概要	<p>○リニューアルの概要 公共施設の再整備（吾妻交流センター、市民活動センター、消費生活センター、国際交流機能、ノバホール小ホール等）及びセンター広場の改修工事を行う。 継続費（R4～R6） 総額900,933千円</p> <p>○経緯 平成30年度 つくばセンタービルのあり方を検討 令和元年度 庁内施設担当課、区分所有者等関係者との協議 令和2年度 つくばセンタービル公共施設基本計画を検討し、リニューアルの方向性案の策定、市民意見の募集 令和3年度 つくばセンタービル公共施設改修設計業務委託市民意見の募集、基本計画の一部を変更 令和4年度 改修工事（～令和6年度） 令和5年度 施設の一部先行オープン 令和6年度 施設全体オープン （参考）なるべく既存施設の閉鎖を伴わないよう、市民活動センターと吾妻交流センターを施設の先行オープンに合わせて移設したのち、現在の場所を施工する。</p>
事業の効果	これまで分散していた公共施設を集約し、老朽化した設備の更新等を行うことで市民サービスの向上や効果的・効率的な施設の維持管理を図ることができる。

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	04 衛生費 01 保健衛生費 07 環境衛生費 13 地球温暖化対策に要する経費
事業名	電力自己託送事業
担当課	生活環境部 環境政策課
事業期間	令和4年度 ～ 令和7年度
未来構想	IV 市民のために科学技術をいかすまち
戦略プラン	IV-4 地球に優しくごみのない低炭素で循環型のまちをつくる
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	37,443	0	0	0	0	37,443	0	37,443	
歳 出 内 訳	委託料	16,668	電力託送需給管理委託料					0	16,668
	使用料及び賃借料	20,775	電力託送料					0	20,775

事業の目的	サステナスクエアの廃棄物焼却施設で発電した電力を公共施設に託送して、消費することにより、公共施設から排出される温室効果ガスを削減するため。
事業の概要	<p>○電力の自己託送制度概要 需要家が保有する自家発電設備で発電した電力を一般送配電事業者（東京電力パワーグリッド）の送配電網を使用して需要家が保有する施設に供給する制度。 ※実際に電力を送っているわけではなく、送ったとみなす制度</p> <p>○事業概要 サステナスクエアの廃棄物焼却施設で発電した電力のうち、所内で使用しない余剰電力を東京電力パワーグリッドの送配電網を使用して、公共施設に託送する。 なお、送電の結果、公共施設で不足する電力は電力小売事業者から購入し、また公共施設に送電してさらに余剰となる電力は電力小売事業者を通じて売電する。</p> <p>○託送元：サステナスクエア発電施設 託送先：2022年9月に電力需給契約が切れる本庁舎ほか40施設（予定） 開始時期：2022年10月1日（予定）</p>
事業の効果	電力購入量の減少により、公共施設から排出される温室効果ガス排出量を削減することができる。 (サステナスクエアにおける廃棄物焼却で発生する温室効果ガスは、廃棄物分野における排出量として計上されていることから、託送された電力を消費しても温室効果ガス排出量の重複計上は不要)

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 04 公園建設事業費 11 公園建設に要する経費
事業名	スケートボードパーク整備事業
担当課	建設部 公園・施設課
事業期間	令和4年度
未来構想	I 魅力をみんなで創るまち
戦略プラン	I-2 資源をみがき、魅力あふれるまちをつくる
ロードマップ	135 スケートボードパークの整備について検討を開始

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	53,977	0	0	22,300	20,000	11,677	0	53,977	
歳 出 内 訳	委託料	4,235	(仮称) スケートボードパーク設計業務委託					0	4,235
	工事請負費	49,742	(仮称) スケートボードパーク整備工事					0	49,742

事業の目的	スケートボード人口の増加に伴う、コース設置の要望に対応するため施設を整備する。
事業の概要	<p>○名 称 (仮称) 流星台スケートボードパーク</p> <p>○場 所 つくば市流星台 (さくら運動公園北側)</p> <p>○仕 様 防護柵 100m、照明 6基、コンクリート舗装 450㎡</p> <p>○コース ストリートのセクションを設置、初～中級者向け</p> <p>○開所時期 令和5年4月</p> <p>○近隣の状況 市内 : 大舟戸、古来、南中妻 (いずれも民営) 坂東市: 緑のスポーツ広場スケートボードパーク (公設) 境町 : アーバンスポーツパーク (公設) 笠間市: ムラサキパークかさま (公設)</p> <p>○財 源 日本スポーツ振興センター補助金及び地方債を活用</p>
事業の効果	スポーツとして、スケートボードの推進を図り、スケートボード利用者やほかの公園利用者に対しても安全・安心な公園環境を提供することができる。

令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	08 土木費 04 都市計画費 04 公園建設事業費 11 公園建設に要する経費
事業名	公園建設事業
担当課	建設部 公園・施設課
事業期間	継続
未来構想	Ⅲ 未来をつくる人が育つまち
戦略プラン	Ⅲ-1 こどもも親も楽しく育つ環境をつくる
ロードマップ	133 子どもが自由に自然の中で遊べるプレイパークの整備を推進

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源		
	364,331	142,500	0	198,900	0	22,931	63,025	301,306
歳出内訳	工事請負費・委託料	125,631	萱丸地区4号近隣公園整備工事				1,210	124,421
	工事請負費	800	プレイパーク整備工事				800	0
	公有財産購入費	57,900	萱丸トンボ池用地購入費				61,015	△ 3,115
	負担金補助及び交付金	180,000	上河原崎・中西特定土地区画整理事業公園公共施設管理者負担金				0	180,000

事業の目的	こどもも親も楽しめる遊べる場として、萱丸地区、流星台プレイパーク場、上河原崎・中西地区に公園等を整備する。																																												
事業の概要	<p>○公園整備事業の内容</p> <p>①萱丸地区4号近隣公園整備工事 みどりの東地内に整備する公園の工事を行う。</p> <p>②プレイパーク整備工事 流星台プレイパーク用地の樹木伐採、伐根、整地作業。</p> <p>③萱丸トンボ池用地購入費 R1～5年度にかけて用地を購入する。R4年度は1,398㎡を取得予定。 総面積25,180㎡のうち18,869㎡(約75%)を取得することとなる。</p> <p>④上河原崎・中西特定土地区画整理事業公園公共施設管理者負担金 区画整理地内に整備する公園面積の一定割合を超える分を県・UR・市との協議に基づき、市が取得費として費用を負担する。</p> <p>○事業費 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">①萱丸地区 4号近隣公 園</th> <th rowspan="2">②プレイ パーク</th> <th rowspan="2">③トンボ池 用地購入</th> <th rowspan="2">④公管金</th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫補助</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>125,631</td> <td>800</td> <td>57,900</td> <td>180,000</td> <td>364,331</td> <td>142,500</td> <td>198,900</td> <td>0</td> <td>22,931</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>1,210</td> <td>800</td> <td>61,015</td> <td>0</td> <td>63,025</td> <td>27,400</td> <td>30,200</td> <td>0</td> <td>5,425</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>126,841</td> <td>1,600</td> <td>118,915</td> <td>180,000</td> <td>427,356</td> <td>169,900</td> <td>229,100</td> <td>0</td> <td>28,356</td> </tr> </tbody> </table>		①萱丸地区 4号近隣公 園	②プレイ パーク	③トンボ池 用地購入	④公管金	合計	財源内訳				国庫補助	地方債	その他	一般財源	R4年度	125,631	800	57,900	180,000	364,331	142,500	198,900	0	22,931	R3年度	1,210	800	61,015	0	63,025	27,400	30,200	0	5,425	合計	126,841	1,600	118,915	180,000	427,356	169,900	229,100	0	28,356
	①萱丸地区 4号近隣公 園							②プレイ パーク	③トンボ池 用地購入	④公管金	合計	財源内訳																																	
		国庫補助	地方債	その他	一般財源																																								
R4年度	125,631	800	57,900	180,000	364,331	142,500	198,900	0	22,931																																				
R3年度	1,210	800	61,015	0	63,025	27,400	30,200	0	5,425																																				
合計	126,841	1,600	118,915	180,000	427,356	169,900	229,100	0	28,356																																				
事業の効果	萱丸地区、流星台プレイパーク場、上河原崎・中西地区に公園等の整備を図り、こどもも親も楽しめる遊べる場を提供することができる。																																												

## 令和4年度当初予算(案) 主な事業の概要

一般会計	10 教育費 05 社会教育費 02 図書館費 12 図書館運営設に要する経費
事業名	電子図書館運営事業
担当課	教育局 中央図書館
事業期間	令和4年度 ～
未来構想	-
戦略プラン	-
ロードマップ	-

(単位:千円)

事業費	令和4年度 A	左の財源内訳					令和3年度 B	増減 A-B	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財	一般財源			
	8,789	0	0	0	0	8,789	0	8,789	
歳 出 内 訳	使用料	1,100	電子図書館使用料					0	1,100
	使用料	7,480	電子書籍使用料					0	7,480
	賃借料	209	電子書籍用目録データ (MARC) 賃借料					0	209

事業の目的	図書館機能をさらに高めながら市民サービスの向上を目指す。
事業の概要	<p>令和4年10月に予定している図書館情報システム更新に合わせて、電子図書館サービスを開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子図書館運営事業概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 令和4年度導入予定書籍数 2,000タイトル</li> <li>2 電子書籍用目録データ (MARC) 2,000タイトル 図書館情報システムと連携させ、図書館Webページからの検索、貸出を可能とする。</li> <li>3 電子図書館運営開始 令和4年10月予定</li> </ul> </li> <li>○ 予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子図書館使用料 1,100千円</li> <li>初期導入経費 770千円</li> <li>クラウド使用料 (10～3月) 330千円</li> </ul> </li> <li>電子書籍使用料 7,480千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍 (有期限・回数制限タイプ) 3,080千円</li> <li>電子書籍 (無期限タイプ) 4,400千円</li> </ul> </li> <li>目録データ (MARC) 賃借料 209千円</li> </ul> </li> </ul>
事業の効果	<p>電子図書館サービスを開始することにより、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(通称:読書バリアフリー法)の基本理念にあるアクセシブルな書籍・電子書籍等の量的拡充や質の向上が図られる。</p> <p>また、インターネットを利用してサービスが提供できるため、非来館型サービスが実現することになり、コロナ禍における図書館サービスとして効果的である。</p>